



2018年度

向陽ヶ丘病院年報



北海道立向陽ヶ丘病院

はじめに

今年度は5月1日から元号が変わり、令和元年となりました。

世界情勢は時々刻々と変化しており、原稿を書いている時点で今後どのような変化がおこるのかまだわかりません。病院の体制は年度がかわっても大きくは変わっていませんが、働き方改革による時間外労働の上限規制が医師などは一部猶予があるものの適応されることになります。残業を一定の範囲内に抑制することで労働者のワーク・ライフ・バランスを改善していくことが求められていますが、業務量を減らすことが困難で、人員も容易には増員できない医療現場でどのように実現していくのが今後課題となっていくでしょう。ワーク・ライフ・バランスの改善のため、生産性向上の取り組みとあわせてさらなる労働環境の整備に取り組んでいくことが求められています。

自然災害や航空機・列車事故、犯罪事件などの集団災害の後、被災地域に入り、精神科医療および精神保健活動の支援を行う専門的なチーム（DPAT）ですが、ようやく本道でも議論が進められつつあり、道立病院として当院もチームを組織していくことになりそうです。

オホーツク三次医療圏の精神科救急医療システムは、当番病院である当院と北見赤十字病院に相変わらず負担の大きいシステムとなっています。特に、精神科病床が不足している遠紋地域は救急患者が発生した場合、当番病院に頼らざるを得ず、以前から問題となっています。遠紋地域からは距離的にはむしろ近い場合もあり、医療資源も比較的充実している上川地域との連携も考えていくべきではないかと考えますが、そのような方向には全く進んでいません。

病院運営では、訪問看護のニーズの増加に対応するべく、訪問看護にかかわる人員の確保によって訪問看護の充実がはかられました。道立病院でも精神保健福祉士および臨床心理士の専門職としての採用がようやく実現しそうです。今後も、当院のオホーツク三次医療圏の中心的な精神医療機関という使命を達成していくために、さらなる創意工夫が必要になってきます。

令和元年5月7日

病院長 藤井 泰

理念、基本方針等

理 念

「こころの和と輪」を大切に、
患者さま、ご家族、地域の皆さまと手を携え、信頼と満足の医療を目指します。

基本方針

- ・オホーツク圏における精神科医療の基幹病院としての役割を果たします。
- ・患者さまの権利を尊重し、安全で信頼される医療を提供します。
- ・人権を尊重し、地域との連携を深め、患者さまの社会参加を応援します。
- ・医の倫理を踏まえ、より質の高い医療を目指して職員の資質の向上に努めます。
- ・公的責務を自覚し、透明かつ適正な病院経営に努めます。

患者さまの権利と義務

「患者さまの権利」

向陽ヶ丘病院は「患者の権利宣言(リスボン宣言)」を尊重します。

- ・人権や価値観を尊重され、適正な医療を公平に受けることができます。
- ・病気や治療の内容について、十分な説明を受けることができます。
- ・十分な説明に基づき、自らの意志で医療内容を選択することができます。
- ・医療上の個人情報や秘密は守られます。
- ・あなたの診療情報の開示を求めることができます。

「患者さまの義務」

- ・ご自身の健康に関する情報を知らせていただきます。
- ・病気や治療の内容について、十分理解するように努力していただきます。
- ・病院のルールを守り、意欲を持って医療に参加していただきます。
- ・他の患者さまの医療を妨害する行為を慎んでいただきます。
- ・医療費を支払う義務があります。

臨床倫理綱領

- 1 病める人々とその家族・関係者の権利を尊重し、信頼関係に基づいた医療を行います。
- 2 十分な説明と同意に基づく、患者さま本意の医療を行います。
- 3 隔離などの行動制限が必要な場合には、それを最小限にとどめるよう努力します。
- 4 医療情報、記録を整備し、決められた基準に従い管理します。これらの情報に関しては、患者さま以外の第三者に対しては、正当な理由なく洩らしません。
- 5 病院医療に関わるあらゆる安全管理に最大限の努力をします。

職員の倫理

- 1 向陽ヶ丘病院の理念、基本方針を自己の行動の規範とします。
- 2 公務員倫理と医の倫理を踏まえ、患者さまの権利を尊重し、希望のもてる医療を実践します。
- 3 仕事に誇りを持ち、すべての患者さまに公平、平等な医療を行います。
- 4 より質の高い医療を提供するため、自己研鑽に努めます。
- 5 患者さまや地域からの信頼を得るよう努めます。

暴力対策指針

この指針は、北海道立向陽ヶ丘病院職員（以下「職員」という。）が暴力の基本を踏まえ、包括的かつ組織的に暴力の予防、対応、再発防止に取り組む方法を指針として示すことによって、職員を暴力から保護し、職員の安全と健康を確保するとともに快適な職場をつくり、もって質の高い安全な医療サービスを提供することを目的とする。

目次

はじめに

理念、基本方針等

第1	病院の概要	1
1	性格と機能	1
2	主な事業	1
3	施設概況	1
4	診療概要	1
5	組織機構	2
6	職員数	3
7	院内各種会議・委員会等の設置状況	4
8	会議・委員会等組織図	5
第2	業務概要	6
1	医局	6
2	看護	7
3	薬局	1 1
4	栄養指導部門	1 2
5	放射線科	1 3
6	臨床検査科	1 4
7	地域連携室、地域連携科	1 5
8	地域連携室 リハビリテーション科（デイケア部門）	1 6
9	地域連携室 リハビリテーション科（作業療法部門）	1 7
10	地域連携室 臨床心理部門	1 8
11	認知症疾患医療センター	1 9
第3	診療概況	2 0
1	年度別、病棟別入院患者動態	2 0
2	新入院患者の病名別・形態別患者数及び割合	2 2
3	新入院患者の病名別・年齢構成	2 8
4	新入院患者の年齢階層別人数及び割合の年次推移	3 4
5	入院患者の在院期間別人数及び割合	3 5
6	退院患者の退院先別入院期間別人数及び割合	3 6
7	入院患者の居住地域別人数及び割合	3 8
8	入院患者の経路別人数及び割合	3 9
9	外来患者数の推移	4 0
10	初診外来患者の病名別分類	4 2
11	外来患者の居住地域別人数及び割合	4 3
12	診療時間以外の診療件数内訳	4 4
13-1	精神科救急医療システム実績	4 4
13-2	救急車による患者搬入件数の年次推移	4 4

第4	経営概況	4 5
1	決算状況	4 5
2	経営分析調	4 6
3	診療行為別件数	4 7
4	病床100床当たり職員数	4 8
5	医薬材料使用効率調	4 9
6	給食収益に対する材料費調	4 9
第5	地域支援活動	5 0
1	診療支援	5 0
2	地域の保健、予防活動	5 0
3	講演	5 1
4	自助グループへの支援	5 1
5	グループホームと地域活動支援センターの支援	5 1
6	網走保健所、市町村等との連携	5 1
第6	研修、教育・実習	5 3
1	院内研修開催状況	5 3
2	院外研修会等参加状況	5 4
3	教育、実習の受入	5 5
第7	医療事故等の状況	5 6
1	医療事故等の公表基準	5 6
2	医療事故等の発生状況	5 7
第8	ご意見の概要	5 8
第9	資料(網走の精神保健・医療)	5 9
1	オホーツク総合振興局管内の人口と面積	5 9
2	精神科医療機関の状況	5 9
3	精神保健福祉社会資源	5 9

第1 病院の概要

1 性格と機能

- ・道東北(北網)地域の精神医療の専門病院として、地域医療の公的使命を担っています。
- ・認知症疾患医療センターを設置し、認知症専門医療を実施しています。
- ・精神科デイケアを設置し、社会復帰のための機能を担っています。
- ・訪問看護を実施しています。
- ・精神科救急医療体制(オホーツクブロック)に参加しています。
- ・児童発達外来サテライト診療を実施しています。

2 主な事業

- (1) 入院及び外来患者に対する診療
道立病院として、精神障がい者に対する診療を実施
- (2) 社会復帰活動の実施
訪問看護活動、精神科デイケア、精神科ソーシャルワーク及び入院リハビリテーションを実施
- (3) 精神科救急医療体制への参加
オホーツクブロック精神科救急医療体制事業(緊急時の精神科医療確保のため行っている事業)に参加し、救急医療施設として緊急時に対応
- (4) 認知症専門医療
鑑別診断、急性期治療、専門医療相談の実施
- (5) 臨床研修の実施
臨床研修協力施設として、医師の卒後教育を実施
- (6) 実習学生等の指導
看護学生精神科看護実習等の指導を実施
- (7) 地域の保健・予防活動への支援
他関係機関に協力し、地域の保健予防活動、精神保健の普及活動を支援

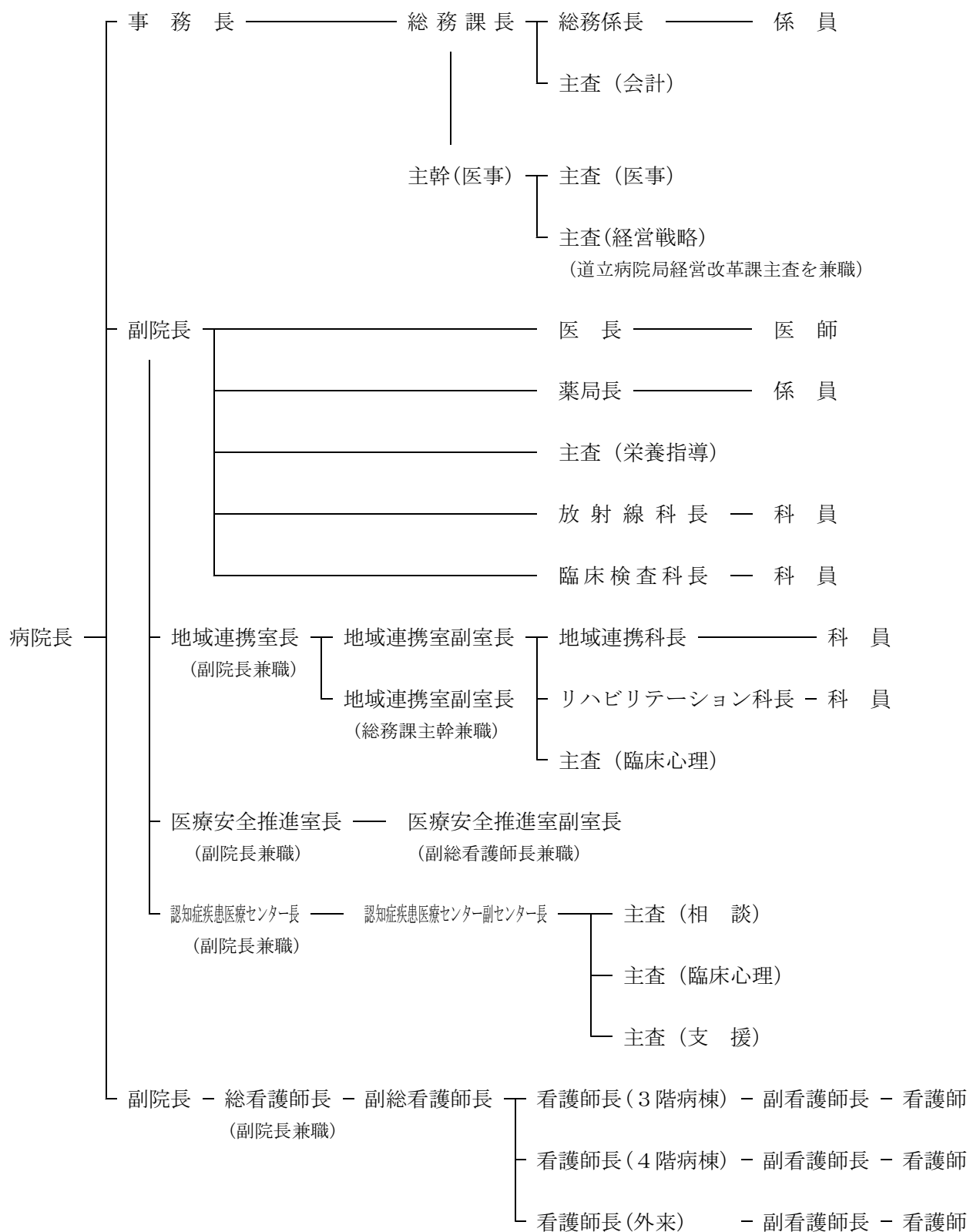
3 施設概況

- (1) 所在地 網走市向陽ヶ丘1丁目5番1号
- (2) 敷地面積 27,220.12m²
- (3) 施設 病 院 鉄筋コンクリート造4階・地下1階建て
延面積 6,187.95m²
デイケア棟 鉄筋コンクリート造地上2階・地下1階建て
延面積 886.18m²

4 診療概要 (2019年4月1日現在)

- (1) 診療科目 精神科・心療内科
- (2) 病床数 105床
3階病棟(開放・閉鎖)56床 4階病棟(閉鎖)49床
- (3) デイケア 定員50名
- (4) 指 定 保険医療機関、生活保護法指定医療機関、国民健康療養取扱機関、
労災保険指定医療機関、応急入院指定医療機関、
結核予防法指定医療機関、精神科救急施設等指定医療機関、
医療観察法指定通院医療機関、指定自立支援医療機関(精神通院医療)
- (5) 看護体制 入院基本料 15:1(看護配置加算70%以上)、看護補助加算2

5 組織機構



（2019年4月1日現在）

6 職 員 数

2019年4月1日現在

職 種 配置箇所		医 師	看 護 師	准 看 護 師	薬 剤 師	放 射 線 技 師	臨 床 検 査 技 師	管 理 栄 養 士	作 業 療 法 士	心 理 判 定 員	P S W	事 務 職 員	運 転 技 術 員	公 務 補 員	調 理 員	そ の 他	合 計
医 局		5 (2)															5 (2)
看 護	外 来		6														6
	3 階 病 棟		24														24
	4 階 病 棟		17														17
薬 局					2											(1)	2 (1)
主査(栄養指導)								1									1
放 射 線 科						2											2
臨 床 検 査 科							2										2
地 域 連 携 室	地域連携科	(兼)	5			1				1							7
	リハビリテー ション科		1						2		1						4
	主査(臨床心 理)									1							1
総 務 課												8					8
認知症疾患医療 センター		(兼)	1								1						2
合 計		5 (2)	54		2	3	2	1	2	2	2	8				(1)	81 (3)

※ 院長及び副院長は医局に、事務長は総務課、副院長兼総看護師長・副総看護師長は外来に計上

※ ()は、医師は非常勤委嘱医、その他は一般職非常勤職員であり、外数

※ 臨時職員は含まない。

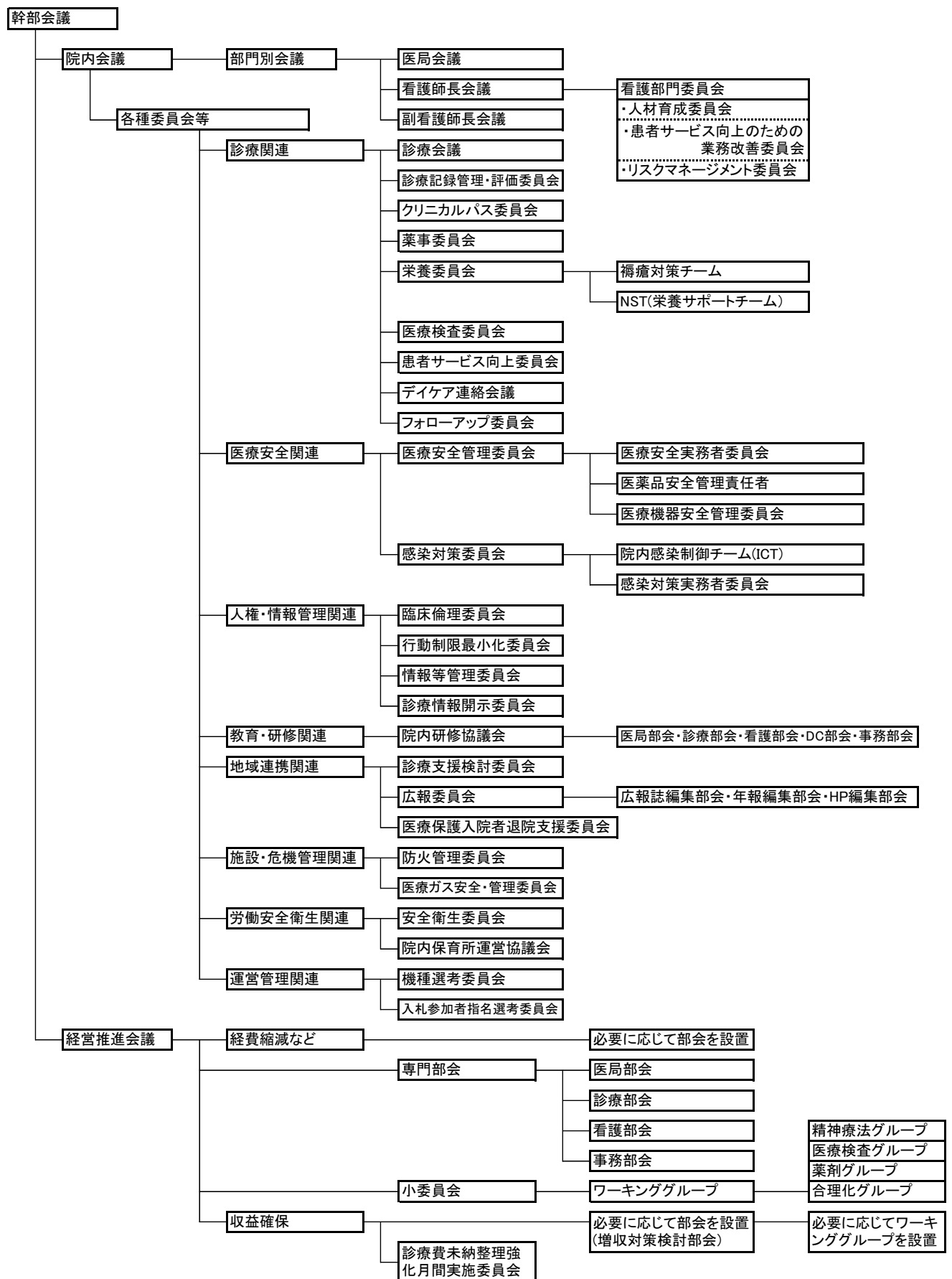
7 院内各種会議・委員会等の設置状況

(2019年4月1日現在)

名 称	所 掌 事 項
幹 部 会 議	病院の管理運営に関すること
院 内 会 議	病院の運営その他連絡調整に関すること
経 営 推 進 会 議 (増収対策委員会を包含)	北海道病院事業改革プランの推進に関すること 診療報酬に係る査定等及び新たな加算の取組に関すること
医 局 会 議	医師の業務の連絡調整に関すること
看 護 師 長 会 議	看護業務の管理運営に関すること
副 看 護 師 長 会 議	看護部門の実践業務に関すること
診 療 会 議	医療業務の連絡調整に関すること
診 療 録 管 理 委 員 会	診療記録の作成、保存・管理及び評価に関すること
ク リ ニ カ ル パ ス 委 員 会	クリニカルパスの導入と運用・管理に関すること
薬 事 委 員 会	医薬品の採用、管理その他薬事に関すること
栄 養 委 員 会	栄養指導、患者給食及び食中毒予防に関すること
褥 瘡 対 策 チ ー ム	褥瘡対策に関すること
NST(栄養サポートチーム)	栄養管理対策に関すること
医 療 検 査 委 員 会	医療検査の適正化に関すること
患者サービス向上委員会	患者さまへのサービスの向上に関すること
デ イ ケ ア 連 絡 会 議	デイケアの運営に関すること
医 療 安 全 管 理 委 員 会	医療の安全管理対策の総合的な企画、実施に関すること
医 療 安 全 実 務 者 委 員 会	医療事故の調査、研究その他医療事故の防止に関すること
医 薬 品 安 全 管 理 責 任 者	医薬品の安全管理に関すること
医療機器安全管理委員会	医療機器の安全管理に関すること
感 染 対 策 委 員 会	院内感染防止体制の確立、対策の推進に関すること
感 染 対 策 実 務 者 委 員 会	院内感染の予防対策に関すること
院内感染制御チーム(ICT)	具体的、実践的院内感染対策の実行
臨 床 倫 理 委 員 会	臨床における倫理に関すること
行 動 制 限 最 小 化 委 員 会	行動制限の適正性の確保と最小化に関すること
情 報 等 管 理 委 員 会	院内情報の総合的管理に関すること
診 療 情 報 開 示 委 員 会	診療情報の開示に関すること
院 内 研 修 協 議 会	院内研修会に関すること
診 療 支 援 検 討 委 員 会	医療機関への診療支援に関すること
広 報 委 員 会	病院の広報に関すること
フ ォ ロ ー ア ッ プ 委 員 会	入院・外来患者さまの地域支援、長期入院患者さまの退院支援
医 療 保 護 入 院 者 退 院 支 援 委 員 会	入院期間の適正化・退院支援に関すること
診療費未納整理強化月間実施委員会	診療費未納整理強化月間の推進に関すること。
防 火 管 理 委 員 会	防火管理に関すること
医療ガス安全・管理委員会	医療ガス設備の安全管理に関すること
安 全 衛 生 委 員 会	職員の安全衛生、健康管理及び職場環境に関すること
院内保育所運営協議会	院内保育所の運営に関すること
機 種 選 考 委 員 会	医療機器等の機種を選考等に関すること
入札参加者指名選考委員会	指名競争入札等の参加者の指名選考に関すること

会 議 ・ 委 員 会 等 組 織 図

2019年4月1日現在



第2 業務概要

1 医 局

現在医師5名（精神保健指定医3名）にて院内の診療に当たっている。その他、個々の症例のカンファレンスに加え、各部署の代表者からなる会議、委員会、ワーキンググループへの参加を通じて、院内の他職種と連携を図っている。

院外においては移動精神保健相談、保健所、看護学院、刑務所などで診療、教育、啓発活動を実践している。長期入院患者の退院を積極的に支援する流れが広まり、地域生活支援センター、地域の保健師、訪問看護ステーション、グループホーム、共同作業所などと連携を取りながら、院外での患者の生活支援を検討し、退院促進にも努めている。

なお、外来診療は主治医制を基本とした予約制を導入しており、待ち時間の短縮並びに診察内容の充実を図っている。

また、平成30年（2018年）8月からは、今後増加が予想される身体合併症をもつ患者への対応を充実させるため非常勤内科医を加えるなど、診療体制を整備した。

(1) 医師配置状況(2019年4月1日現在)

病 院 長 藤 井 泰
副 院 長 中 村 一 朗
医 長 幡 賢
医 師 渡 邊 一 由
医 師 直 江 亮
非常勤医師 池 川 敦 子（内科担当）

(2) 外来診察医(2019年4月1日現在)

曜日	午前 Ⅳ診	午前 Ⅲ診	午前 Ⅱ診	午前 Ⅰ診	午後 Ⅲ診	午後 Ⅱ診	午後 Ⅰ診
月	藤 井	中 村	幡 (新患)	—	—	—	—
火	藤 井	幡	直 江 (新患)	—	中 村	渡 邊	—
水	藤 井 (新患)	幡	渡 邊	直 江	—	—	—
木	藤 井	中 村	渡 邊 (新患)	池 川	幡	直 江	池 川
金	—	中 村 (新患)	渡 邊	直 江	—	—	—

(3) 担当医(2019年4月1日現在)

外来・デイケア 中 村 副院長
3階病棟 渡 邊 医 師
4階病棟 幡 医 長

2 看 護

(1) 理念

私たち看護職は、心に病を持つ方の健康回復のために支援します。また、地域の医療福祉機関と連携しながら、地域の人々から信頼される医療・看護の提供に努めます。

【方針】

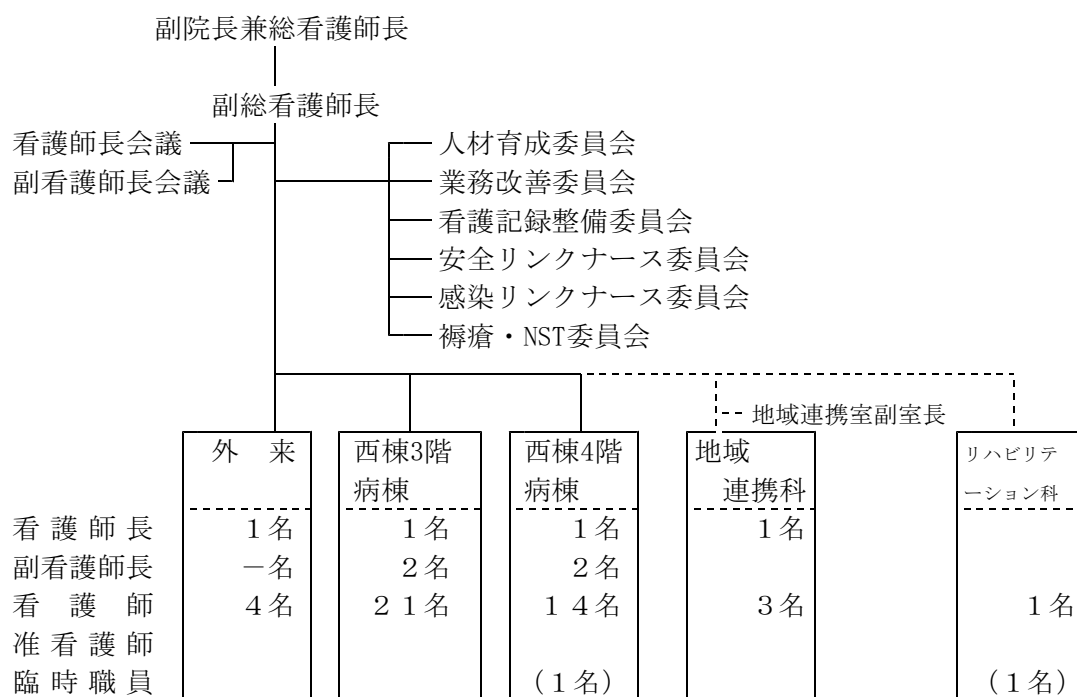
- ・ 看護者の倫理綱領に基づき、心かよう看護を提供します。
- ・ 安全を確保し、心安まる療養環境を整えます。
- ・ 看護の専門性を高め、地域のニーズに応えられる専門職業を目指します。

【目標】

安定的な医療（機能・役割等）を提供するための体制を整備します。

- ・ 退院支援の促進
- ・ 認知症疾患医療センターの定着
- ・ 新しい看護体制の構築

(2) 組織図（2019年4月1日現在）



(3) 看護体制（2019年4月1日現在）

看護単位・・・3単位

西棟3階病棟 開放・閉鎖・・・男女混合56床
 開放 33床 閉鎖 23床
 （保護室 1床、合併症室 1床 を含む）
 西棟4階病棟 閉鎖・・・男女混合 49床
 （保護室 5床、合併症室 1床 を含む）

外 来

地域連携室 地域連携科
 リハビリテーション科

- (4) 勤務体制
病棟・・・3交代制、複数夜勤、遅出勤務

- (5) 入院基本料
入院基本料 15：1
看護配置加算（看護師70%以上）
看護補助加算 2 50：1

- (6) 運営概要

① 看護職員関連

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
離職率（％）	17.5	7.0	8.8	1.8	5.3
平均勤続年数（年）	13.1	11.3	10.3	10.6	13.0
平均年休取得率（％）	49.3	33.7	31.4	37.2	33.7
平均代休取得率（％）	100.0	100.0	100.0	99.8	100.0
病気休暇取得率（％）	1.06	0.57	0.70	0.97	1.70

平均勤続年数は北海道職員採用年から算出する

（年休取得率＝当該年度の取得日数／当該年度の付与日数）前年度からの繰越日数は含まない

（病気休暇取得率＝病気休暇取得日数／その年度の勤務日数×職員数）

② 医療安全関連

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
アクシデント発生率（％） （アクシデント＝レベル2以上）	12.6	13.9	9.8	13.0	4.9
針刺し事故発生件数（件）	0	0	1	0	1
公務災害認定発生件数（件）	2	0	1	0	2
褥瘡発生率（％）	11.00	3.18	2.27	0.34	0.30

* 褥瘡発生率＝当月の褥瘡発生者数／当月の入院患者数＋前月の在院患者数

(6) 病棟の概要

病 棟 名	概 要
西棟 3 階 病棟	病棟は56床の混合病棟で閉鎖23床、開放33床に分かれている。 閉鎖フロアは主に老年期精神疾患患者が対象になっており、吸引・酸素の設備を設置している個室が6室、4床室が4室、ナースステーションに隣接した合併症室が1室あり、内科疾患合併症患者の身体管理も行っている。 患者は認知症の中等度から高度の症状を呈し、周辺症状である行動障害やせん妄の精神症状を伴い、薬物療法を中心に治療を行っている。生活全般における介助、身体管理、摂食嚥下訓練対象者が多い現状にあり、また、患者の日常生活援助や、認知症の症状による暴力等の対応から、看護師2人での対応を基本としている。患者の多くは自ら身体不調を訴えることが出来ないため、異常の早期発見、転倒、転落等安全面への配慮に努めている。また、合併症等による基礎疾患や薬物による副作用などで全身状態が変化しやすく、全身管理が必要となっており、日常生活能力の低下防止を目的とした作業療法プログラムを実施している。また、パーソン・センタード・ケアを導入し、患者の視点に立ち看護ケアを考え、実践している。 開放フロアは、吸引・酸素の設備を設置した個室が5室、その他の個室が7室、4床室が5室、保護室が1室あり、開放時間は8時30分から18時までである。 患者は統合失調症のほか、感情障害、神経症、てんかん、依存症、人格障害などの方であり、患者の多くは、閉鎖病棟で急性期治療を終え、退院前のリハビリ目的の転入や、再燃を繰り返す長期入院の統合失調症の患者である。 患者の平均年齢は69歳で平均在院日数は158.3日（2018年度）。高齢化に伴い、身体合併症のある患者が増加しており、日々の看護により自己の回復能力を高めるよう支援している。また、セルフケア能力の低下予防と向上を目的に作業療法士と連携し、個別性を考慮した作業療法プログラムの選択と参加を行っている。 退院支援については、患者に適した生活環境提供のため本人・家族と相談し退院前訪問看護の実施や施設職員・ケアマネージャーなど地域関係者との連携を積極的に行い、退院後も患者・家族が安心して生活できるように、他職種カンファレンスを行いながら支援している。
西棟 4 階 病棟	保護室5室を有する49床の閉鎖病棟である。患者の73%（2018年度）が統合失調症の患者であり、他には気分障害、神経症、依存症、人格障害、認知症などの方となっている。主に急性期症状を呈している患者や、統合失調症の慢性期でセルフケア能力が低下したり、再燃・緩解を繰り返す病状が不安定な患者の入院治療を行っている。 平均在院日数は173日（2018年度）で、慢性期患者の場合、病状の再燃を繰り返し入院が長期化している。長期入院に伴い、患者や家族の高齢化により、外泊・面会などの機会が減り、社会と接する機会が少なくなっている。また、生活習慣病等の身体疾患や合併症が重なり、セルフケア能力の低下、全身管理の必要な患者が増加し、治療・看護へのニーズが多様化してきている。社会環境の変化に伴い、精神疾患であっても地域で生活できる環境が整備されてきており、疾患教育や地域、他職種と連携し、早期退院に向けた支援を行っている。 また、退院支援として、作業療法やSST（社会生活技能訓練）等、他職種との連携を図り、対人関係能力の向上や日常生活課題の改善に向けて取り組んでいる。デイケアの院内試験通所や退院前訪問看護、地域との連携を実施し、退院後安定した生活が送れるように支援している。

(7) 外来の概要

精神科医療は、入院治療中心から地域で生活することへの支援に変化しており、精神疾患を持ちながらも症状をコントロールし、地域でその人らしく生活できることを目指した生活支援へと外来の役割が拡大されつつある。当院は道東北地域の精神医療の専門病院として、精神科救急医療体制（オホーツクブロック）に参加している。H28年に改築整備された際には、救急医療機能を強化し、オホーツク第三次医療圏における精神科救急医療の拠点としての役割を担っている。また、認知症疾患医療センターを設置し、認知症専門医療を行うとともに、児童発達外来のサテライト診療を実施している。

診療体制は患者サービスの向上を目的とし、新規外来患者、再来患者の完全予約診療を行っている。午前3診療（水曜日のみ4診療）、火・木曜日は午後の診療も行っている。

看護の主な業務は、診療介助、患者・家族相談、訪問看護、院内の医材料一元管理のため中央材料室を担当している。中央材料室業務は、各セクションの医療衛生材料及び器材の管理を行っている。地域との連携では、作業所・共同住居及び保健・福祉関係者とのサポート会議・ヘルパー会議などへの参加、デイケア会議への情報提供、アルコール依存症ミーティング（AA）の支援などを行っている。

3 薬 局

2013年から2015年の3年間は欠員のため1人体制で稼働していましたが、2016年4月に補充され2名体制となりました。やむなく業務を休止していた持参薬管理等を含む薬剤管理指導業務は、準備期間を経て同年10月より開始致しました。薬局では各部門、調剤薬局等と連携し以下の業務に取り組んでいます。

(1) 外来処方

当院では原則として院外処方箋を発行し、院外の保険調剤薬局でお薬を受け取っていただきます。

(2) 2018年度 月別業務量

	入院処方			入院注射	外来（院内）			外来注射	持参薬	院外処方	
	枚数	調剤数	延剤数	枚数	枚数	調剤数	延剤数	枚数	枚数	枚数	発行率
4月	434	1,488	8,334	113	6	19	327	170	90	1,682	99.64
5月	411	1,258	7,762	128	7	14	411	189	85	1,842	99.62
6月	414	1,383	7,207	93	6	13	257	169	108	1,680	99.64
7月	341	1,192	7,294	112	6	13	478	185	89	1,793	99.67
8月	398	1,338	7,736	135	5	14	408	204	63	1,905	99.74
9月	327	1,102	7,116	136	8	17	536	165	56	1,547	99.49
10月	414	1,571	8,867	141	9	26	457	186	79	1,951	99.54
11月	400	1,420	8,351	228	11	33	920	321	73	1,749	99.38
12月	304	1,088	8,204	105	10	28	682	188	52	1,806	99.45
1月	280	1,012	7,387	115	12	29	954	168	49	1,688	99.29
2月	298	1,056	6,409	125	9	32	598	172	49	1,628	99.45
3月	346	1,181	8,126	128	11	25	683	171	53	1,685	99.35
合計	4,367	15,089	92,793	1,559	100	263	6,711	2,288	846	20,956	99.53

(3) 疑義照会件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	64	72	62	70	78	22	90	73	89	54	47	67	788

(4) 薬剤管理指導業務件数（退院時指導件数を含む）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	24	30	29	30	25	27	36	35	37	40	31	26	370
	(7)	(8)	(8)	(9)	(5)	(7)	(8)	(8)	(10)	(7)	(8)	(5)	(90)

※（ ）は、退院時指導件数

(5) その他

- ・医薬品等の情報提供（Drug news発行）
- ・後発医薬品の使用促進, 一般名処方箋の発行促進
- ・病棟配置医薬品・向精神薬の定数管理
- ・診療委員会／感染対策委員会／医療安全委員会／栄養委員会／薬事委員会 など

4 栄養指導部門

(1) 業務概況

2012年診療報酬の改定に伴い、栄養管理実施加算が廃止され、栄養管理体制は入院基本料に包括評価となった。このことを受けて当院では入院患者全員に栄養計画及び栄養評価を行っている。

また褥瘡対策チーム・栄養サポートチームの一員として医師や看護師その他の職種と連携して低栄養、嚥下障害などに対応している。

患者さん個々の嚥下状態に合った食事作りに力を入れており、嚥下調整食の基準は日本摂食嚥下リハビリテーション学会嚥下調整食分類2013年版に準じている。

2016年6月の改築移転に伴い大量調理マニュアルに沿った調理施設となり、衛生管理が充実された、またブラストチラー（急速冷却機）の導入により嚥下調整食の調理作業が効率的に行えるようになった。

2012年6月から献立作成、調理業務全てを外部委託している。

(2) 特別食

身体合併症のある患者さんには特別食を提供している。種類は糖尿病食、肝臓食、腎臓食、膵臓食、貧血食、心臓食、低残渣食などである。菓子や清涼飲料水の多量摂取による高中性脂肪血症や肥満の患者さんが多い傾向である。

(3) 行事食

正月・節句・春秋の彼岸等、季節ごとの行事食のほか、月1回「おやつの日」をもうけている。

また、毎月1回誕生会として入院患者さんにお菓子を提供し誕生月の方にはバースディカードを添えている。当年10月からは移転のため休止していた選択食を再開し、患者様に喜ばれている。

(4) 栄養指導

栄養指導が必要な患者さんには精神症状などで困難な場合を除き、栄養指導を実施している。高度肥満症、糖尿病、アルコールパルスなどが主な指導である。集団栄養指導は主にデイケア通所者を対象に行っており、月1回程度デイケアプログラム「食と健康の講座」と称して、食事、運動など通所者が健康生活に役立つ内容で行っており生活の質向上に貢献している。

(5) 食種別給食数(デイケア食含む)

(単位：食)

	常食	軟菜食	流動食	経管流動	特別食	嚥下調整食	合計
2014年度	51,394	42,896	51	995	17,000	578	112,914
2015年度	36,274	46,375	752	1,012	19,640	1,095	105,148
2016年度	27,505	28,071	1,979	2,294	16,068	10,588	86,505
2017年度	27,505	28,071	1,979	2,294	16,068	10,588	73,955
2018年度	26,374	9,027	1,277	574	11,070	16,265	54,587

(6) 1食当たり平均給食数(デイケア食含む)

(単位：食)

	常食	軟菜食	流動食	経管流動	特別食	嚥下調整食	合計
2014年度	46.9	39.1	—	0.9	15.5	0.5	102.9
2015年度	33.1	42.3	0.7	0.9	17.9	1.0	95.9
2016年度	25.1	25.6	1.8	1.8	14.7	9.7	79.0
2017年度	24.1	9.8	0.3	2.8	16.7	13.8	67.5
2018年度	15.0	8.2	11.7	0.5	10.1	14.9	49.9

(7) 栄養指導件数(個別)

(単位：件)

年 度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
件 数	142	90	77	78	88

5 放射線科

(1) CT検査

CT検査は、初診時における頭部検査が主であるが、合併症を伴う患者にとって胸部及び腹部の検査は重要である。

昨年度と比べ、入院検査数も外来検査数もほぼ同じである。

これは病床利用率が若干低下しているものの、もの忘れ外来数が若干増加したことが考えられる。

(2) 一般撮影

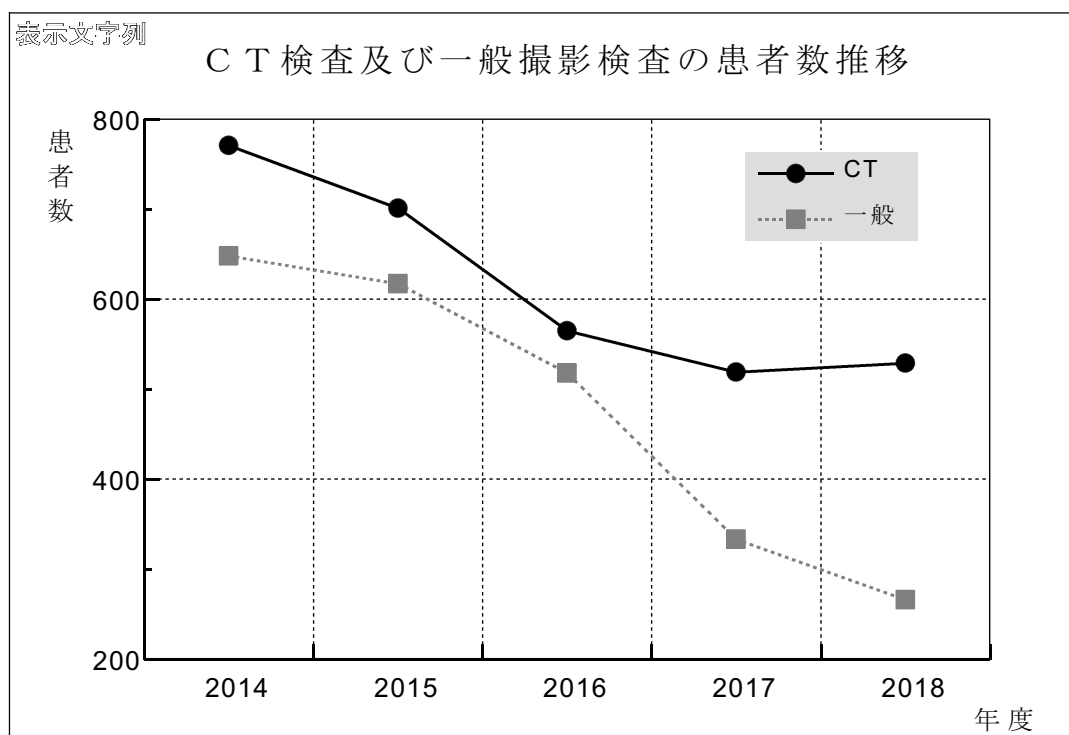
一般撮影検査の主たるものは、入院時における胸部・腹部単純撮影である。

昨年度同様、入院検査数は大幅な減少となり外来患者数は若干減少し総体的にまた減少した。

これは入院患者数および外来患者数が減少していることに加え、一般撮影検査よりCT検査をする割合が多くなったためだと考えられる。

(3) CT・一般X線撮影検査患者数の推移（2014～2018年度 単位：人）

区分	入院・外来	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
CT検査	入院	397	380	256	153	157
	外来	374	321	309	366	372
合 計		771	701	565	519	529
一般撮影	入院	545	516	404	227	182
	外来	103	101	114	106	84
合 計		648	617	518	333	266



6 臨床検査科

(1) 臨床検査業務概況

① 過去5年間（2014～2018）の臨床検査業務

検査業務全般は2014年から昨年度までの4年間で、入院患者の減少などにより総検査件数が104543件から73768件へと約30%減少したが、今年度は対前年度比で約8%程度の増加となった。外来での血液検査が増えたのが要因だと思われる。

② 2018年度の臨床検査業務

2014年度から血中薬物濃度検査件数の推移は761件、707件、622件、1216件、1488件であり、昨年度は対前年比で195%で、今年度は133%と2年連続で増加している。

2017年7月より外来患者の血中薬物濃度などの検査増の推進を行い、成果が現れてきているので継続していきたい。

(2) 年度別臨床検査件数

年度	区分	生化学	免疫	血液	尿・便	細菌	薬物	生理検査			その他	合計
								脳波	心電図	その他		
2014	院内	74579	4617	20950	2516	12	759	38	419	2	0	103892
	委託	542	4	0	0	103	2	0	0	0	0	651
	合計	75121	4621	20950	2516	115	761	38	419	2	0	104543
2015	院内	67478	3308	19620	2542	12	692	29	407	2	2	94092
	委託	292	6	0	0	94	15	0	0	0	0	407
	合計	67770	3314	19620	2542	106	707	29	407	2	2	94499
2016	院内	61050	2976	18428	2075	12	573	34	303	7	7	85465
	委託	561	9	0	0	130	49	0	0	0	0	749
	合計	61611	2985	18428	2075	142	622	34	303	7	7	86214
2017	院内	50764	2207	16710	1795	14	972	25	189	3	0	72679
	委託	648	21	0	0	176	244	0	0	0	0	1089
	合計	51412	2228	16710	1795	190	1216	25	189	3	0	73768
2018	院内	56178	1816	17242	1948	1	1116	12	238	6	0	78557
	委託	771	17	0	0	35	372	0	0	0	0	1195
	合計	56949	1833	17242	1948	36	1488	12	238	6	0	79752

7 地域連携室

(1) 地域連携室業務概況

地域連携室は平成 29 年 4 月 1 日に地域連携科と共に設置され、翌平成 30 年 4 月 1 日より、地域連携室副室長が専従になった。さらに、平成 31 年 4 月 1 日より、地域連携室副室長が 1 名増員（総務課主幹兼務）し地域連携科に看護師等が増員となった。地域連携室は室長（副院長）、副室長 2 名、地域連携科長、地域連携科（看護師 4 名、精神保健福祉士 1 名、放射線技師 1 名）で構成されている。地域連携室業務では地域連携室副室長、精神保健福祉士が地域連携窓口となり対応している。地域連携科は主に訪問看護業務を中心としながら、地域の多職種会議への参加等を行い地域連携業務を行っている。地域連携室は地域の精神科医療のニーズを把握し、他の医療機関、関係施設、地域の多職種と連携強化を図り、患者さまが安心して地域で暮らすための精神科医療の提供を行っている。

【主な業務内容】

- ① 相談業務、前方支援、後方支援業務、医療観察制度対象者への支援等がある。

主な相談として地域の医療機関、居宅介護支援事業所、家族等からの病状に関する相談を受け、緊急性を判断し必要時医師と連携を図り、受診調整、関係機関との情報共有を行っている。後方支援では措置入院患者退院支援及び医療保護入院患者退院支援で、自治体や地域と連携し多職種との会議、カンファレンス等の調整・参加、本人・家族のニーズに沿った意思決定支援を行っている。

主な支援件数（2018 年度）

内 容	実施件数	内 容	実施件数
入院患者相談	935	他機関との連携	1,323
外来患者（家族）相談	999	地域移行支援（対象 3 名）	92

- ② 広報活動として斜網地域及び近隣の医療機関（12 件）、居宅介護事業所（16 件）等に訪問や医療福祉連携に関する会議に参加し、地域連携室設置の説明や「地域連携室のご案内」のパンフレットの作成・配布、病院ホームページの作成、院内マニュアル作成を行っている。

(2) 地域連携科の業務概況

訪問看護業務を行い、患者さまが安心して地域生活を継続できるよう院内及び地域の多職種と連携を図り、患者家族の思いに沿い、患者家族のストレスを大切に患者参加型看護計画の立案、目標共有を図り看護ケアを提供している。訪問看護は平日に 5 日間、1 日平均 8 ～ 10 件、訪問範囲は網走市内の他に大空町・美幌町・斜里町・小清水町・清里町などの市外訪問も実施している。2018 年 4 月 1 日現在、146 名の患者が利用されている。

訪問内容として病状の観察、服薬管理・通院状況、日常生活、金銭管理等についての相談や支援を行っている。また、院外他職種である作業所・共同住居・保健福祉関係者との情報共有を行い、その他、患者サポート会議（年 12 回）・ヘルパー会議（年 6 回）・デイケア会議（年 12 回）に参加している。院内においては病棟、外来との連絡会議、病棟カンファレンスの参加、病棟看護師との退院前訪問等を実施し、入院患者が安心して在宅生活に移行できるよう支援している。

訪問看護件数の推移

	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
訪問看護件数	2153	2,189	2,125	2,472	2,562
月平均（件数）	179	182	177	206	214

8 地域連携室 リハビリテーション科（デイケア部門）

当院デイケアは、オホーツク医療圏では初めて開設され、1996年7月1日に本格的に活動が開始された。2008年4月からは、デイケアショート利用を導入し、デイケアの半日利用を可能にすることにより、患者の利便性の向上を図っている。2012年1月から水曜日も通所日にあて、平日の毎日通所（週5日）となった。

施設区分は、「病院併設型・大規模デイケア」とされ、定員50名となっている。

スタッフは、医師（兼務）1名、看護師2名、精神保健福祉士1名、作業療法士1名、の合計5名で構成され、加えてプログラム講師7名を外部に委嘱している。2004年度より固定ボランティアを導入、現在2名が在籍している。

(1) 通所者（メンバー）

表1 利用者数

（単位：日、人）

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
開 所 日 数	241	239	242	244	243
延 べ 通 所 者 数	9,045	8,413	7,640	7,045	6,256
1 日 平 均 通 所 者 数	37.5	35.2	31.6	28.9	25.7
新 規 登 録 者 数	5	9	3	4	5
登 録 者 数	77	86	80	78	75
男 性	56	62	56	52	52
女 性	21	24	24	26	23

表2 疾病別

（単位：人）

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
統 合 失 調 症	60	72	66	64	61
躁 う つ 病	3	2	2	2	2
て ん か ん	3	2	1	1	1
薬 物 依 存	1	1	1	0	0
非 定 型 精 神 病	0	0	0	0	0
そ の 他	10	9	10	11	11

(2) デイケアプログラム

木曜午後は月に1回、「グループミーティング」、「茶道」「食と健康の講座」（管理栄養士の話）を実施しており、グループ活動の中で、毎日「ダンベル体操」を行っている。行事としては「クリスマス会」をメンバーと検討しながら行った。不定期に、メンバー主体で発案した行事（芝桜見学）も開催している。

表3 週間プログラム(2017年12月現在)

	月	火	水	木	金
9:00	朝 の 会	朝 の 会	朝 の 会	朝 の 会	朝 の 会
10:00	陶 芸	絵 画	やさしい体操	健 康 運 動	グループ活動
12:00	グループ活動	グループ活動	グループ活動	自 主 活 動	
	昼食・休憩	昼食・休憩	昼食・休憩	昼食・休憩	昼食・休憩
13:00	料 理	全体ミーティ	手 芸	週替プログ	七 宝
	グループ活動	ング SST	グループ活動	ラム	グループ活動
15:00		グループ活動		グループ活動	
16:00	終わりの会	終わりの会	終わりの会	終わりの会	終わりの会

9 地域連携室 リハビリテーション科（作業療法部門）

当院での精神科作業療法は、1994年7月に承認を得て開始となる。

医師（兼務）1名、作業療法士1名、助手（非常勤職員）1名で構成されていたが非常勤職員の退職に伴い助手の配置が2015年3月で終了となった。

作業療法の週間プログラムは、作業療法士が中心となって病棟内で行うものと、講師と共に生活療法室や訓練棟など病棟以外の場所で行うものがある。以前は月に2～3回の講師指導日のみの変則的な活動だったが、2002年4月以降は毎週実施となる。

2008年は第4病棟休床に伴い週間プログラムを変更し、定期的にカンファレンスを実施する状況となった。2009年には高齢者の増加に伴い転倒予防のプログラムとして「ふまねっと運動」を導入した。病棟看護師で実施していたSSTだが2015年から作業療法士も加わるようになりグループホームやケアホームなどの施設を見学するなどし長期入院者が退院後の生活を現実的に考えられるよう取り組んだ。

改築移転にあわせ2016年6月から週間プログラム変更、年齢や状態に合わせ参加しやすいよう構成した。

2017年度から組織機構が変わり作業療法科から地域連携室リハビリテーション科作業療法部門となる。

表1 週間プログラム(2018年4月～)

	月	火	水	木	金
9:45	生活力向上	体力作り	悠々音楽会	悠々創作活動	創作活動
11:45					
14:00					
16:00	調理	悠々体操	4F 買い物トレーニング	4F音楽会	4F グループ活動

表2 活動状況

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
開催日数	232	224	224	223	227
参加数	4,801	5,173	4,813	5,088	4,781
算定数	4,406	4,980	4,380	4,558	4,261
一 日 平 均	参加数	20.7	23.1	21.5	22.8
	算定数	19.0	22.2	19.6	20.4

10 地域連携室 臨床心理部門

臨床心理業務は、心理学の知識や技法をベースとして、患者の心理・行動面の障害の治療や援助を行うものです。具体的には以下のとおり、心理アセスメントの一つとしての心理検査や各種の心理療法の提供などが挙げられます。

認知症疾患医療センターの配属として、もの忘れ外来にて認知症の鑑別診断や認知機能の確認のための認知機能検査を行う他に、一般外来や入院患者に対しても認知機能検査を実施しております。また、認知症以外の患者に対しても知能検査や人格検査などの心理検査やカウンセリング業務を行っております。

さらに、平成15年度から継続している児童発達外来サテライト診療として、対象者や家族への対応を継続しております。

(1) 心理検査 及び 認知機能検査

心理検査は、知能検査を中心に、各種人格検査や認知機能検査を実施することで、診断や治療、リハビリテーション等のための重要な情報の一つになります。

認知機能検査は、認知症の鑑別診断として、また認知機能の程度を把握していくため、限られた時間内に患者の負担少なく効率よく行うよう、検査バッテリーの組み方を検討しながら実施しております。

表1 今年度実施した主な心理検査

WAIS-Ⅲ成人知能検査	WISC-Ⅲ知能検査	PF-スタディ
ロールシャッハテスト	ベンダーゲシュタルトテスト	AQ
CAARS	Y-G性格検査	PARS
PARS-TR	Conners 3	バウムテスト

今年度実施した認知機能検査

ADAS	ベントン視覚記銘検査	前頭葉機能検査(FAB)
時計描画テスト	ノイズパレイドリアテスト	

表2 心理検査件数

(人)

	認知症検査				一般心理検査			合計
	外来	もの忘れ外来	入院	小計	外来	入院	小計	
2016年度	20	100	11	131	86	28	114	245
2017年度	2	127	5	134	69	13	82	216
2018年度	0	164	11	175	83	14	97	272

(2) 個人心理療法

個人心理療法は、支持的カウンセリングを主体に、認知行動療法的技法などを取り入れながら実施しています。対象者は主に統合失調症圏以外の患者であり、就学・就労中の方もおられます。月1回～2回の頻度で実施しており、自分自身を客観的に捉えていく自己分析力を高め、コーピング力を身につけていくことを目標としております。

表3 個人心理療法の件数

	外来患者	入院患者	合計
2016年度	278	12	290
2017年度	126	0	126
2018年度	108	0	108

(3) 児童発達外来サテライト診療

発達障害圏の6名の対象者に対して 毎月第4木曜日に継続実施しております。主に母親に対して、対象となるお子さんの日常生活行動に対する対応の仕方等についての指導が中心となっております。

実施回数：12回 31件

11 認知症疾患医療センター

北海道立向陽ヶ丘病院認知症疾患医療センターは、オホーツク第三次保健医療福祉圏における認知症疾患の保健医療水準向上を図るためのものであり、具体的には保健・医療・福祉・介護機関等と連携し、鑑別診断、急性期医療、専門医療相談等を実施するとともに、関係者への研修等を行うこととしています。

<実績>

1 もの忘れ外来における診療について

単位：人

	新規患者	専門医療相談	急性期入院	医療機関からの紹介
2016 年度	161	318	19	61
2017 年度	175	385	10	83
2018 年度	204	365	10	94

2 もの忘れ外来新規患者各内訳

1) 居住地

単位：人（％）

	網走市	斜里町	清里町	小清水町	大空町	その他
2016 年度	100(63)	23(14)	7(4)	7(4)	16(10)	8(5)
2017 年度	89(51)	23(13)	12(7)	12(7)	13(7)	26(15)
2018 年度	91(45)	27(13)	15(8)	15(7)	19(9)	37(18)

2) 年齢

単位：人（％）

	～59	60～	70～	80～	90～
2016 年度	4(3)	15(9)	56(35)	62(38)	24(15)
2017 年度	1(1)	21(12)	55(31)	80(46)	18(10)
2018 年度	7(3)	24(12)	69(34)	90(44)	14(7)

3) 疾患

単位：人（％）

	アルツハイマー型認知症	血管性認知症	前頭側頭型認知症	レビー小体型認知症	混合性認知症	軽度認知障害	その他
2016 年度	94(56)	4(3)	2(2)	2(2)	1(1)	10(6)	48(30)
2017 年度	84(47)	7(4)	1(1)	2(2)	－	12(7)	69(39)
2018 年度	86(42)	5(2)	3(2)	8(4)	－	19(9)	83(41)

3 専門医療相談内容

単位：人（％）

	もの忘れ外来受診	病状・症状	その他
2016 年度	190(59)	40(13)	88(28)
2017 年度	212(55)	38(10)	135(35)
2018 年度	227(62)	35(10)	103(28)

4 地域啓蒙活動について

- 1) 老人クラブ各会員等 3 件（清里町江南老人クラブ他）
- 2) 地域住民向け講演会 1 件（網走市寿大学養成講座）
- 3) イベント参加 5 件（第 31 回ふれあい広場きよさと他）

5 研修会の開催について

- 1) 研修会講師派遣 2 件（網走市寿大学養成講座他）
- 2) 医療及び介護関係者等への研修会 3 件（認知症疾患事例検討会他）

第3 診療概況

1) 年度別、病棟別入院患者動態

(入院患者数、1日平均患者数、入院退院患者数、病床利用率、平均在院日数)

	病棟 (病床数)	区 分	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
新 病 院	西 棟 3階病棟 (56)	延入院患者数			10,891	11,600	9,483
		1日平均患者数			38.2	31.8	26.0
		入院患者数			73	47	52
		退院患者数			100	73	67
		病床利用率			68.2	56.8	46.4
		平均在院日数			124.8	192.1	158.3
	西 棟 4階病棟 (49)	延入院患者数			10,713	12,533	10,343
		1日平均患者数			37.6	34.3	28.3
		入院患者数			83	71	62
		退院患者数			60	65	48
		病床利用率			76.7	70.1	57.8
		平均在院日数			149.0	183.4	187.2
旧 病 院	第1病棟 (35)	延入院患者数	9,631	9,144	1,679		
		1日平均患者数	26.4	25.0	21.0		
		入院患者数	73	51	12		
		退院患者数	63	63	11		
		病床利用率	75.4	71.4	60.0		
		平均在院日数	140.7	159.3	145.0		
	第2病棟 (57)	延入院患者数	12,892	11,233	2,302		
		1日平均患者数	35.3	30.7	28.8		
		入院患者数	67	61	10		
		退院患者数	115	109	18		
		病床利用率	62.0	53.8	50.5		
		平均在院日数	140.4	130.9	163.1		
	第3病棟 (54)	延入院患者数	14,531	13,906	2,502		
		1日平均患者数	39.8	38.0	31.3		
		入院患者数	111	121	23		
		退院患者数	67	90	13		
		病床利用率	73.7	70.4	57.9		
		平均在院日数	162.5	131.0	138.3		
合 計		延入院患者数	37,054	34,283	28,087	24,133	19,826
		1日平均患者数	101.5	93.7	77.0	66.1	54.3
		入院患者数	251	233	201	118	114
		退院患者数	245	262	202	138	115
		病床利用率	69.5	64.3	67.5	63.0	51.7
		平均在院日数	148.4	137.5	138.4	187.5	172.1

※ 旧病院体制（146床）、2016年6月20日より新病院体制（105床）

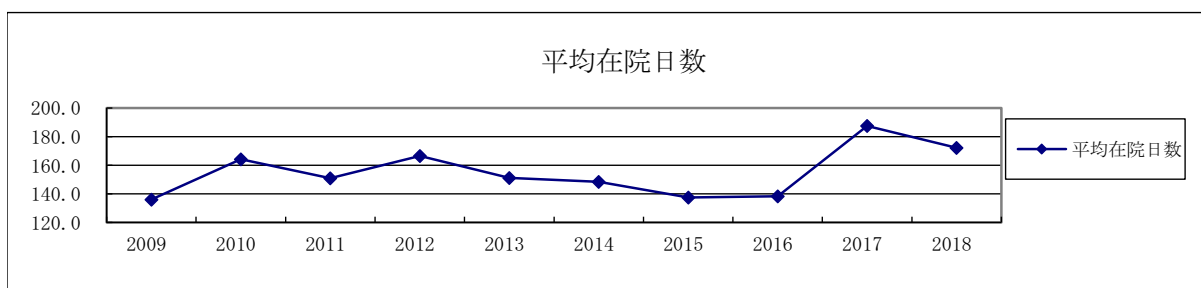
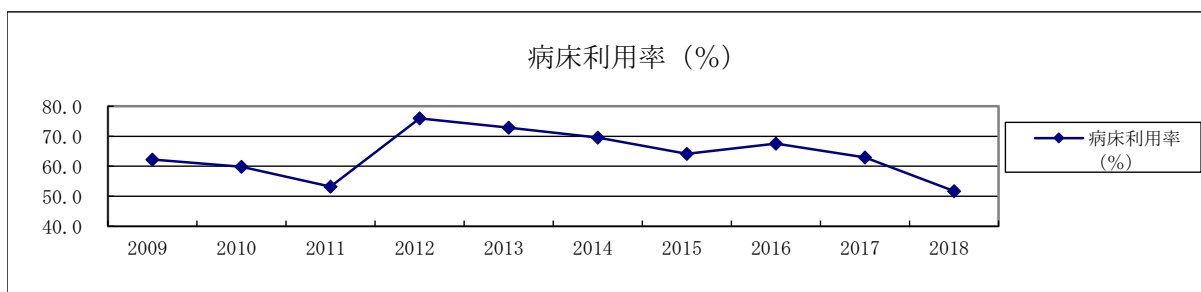
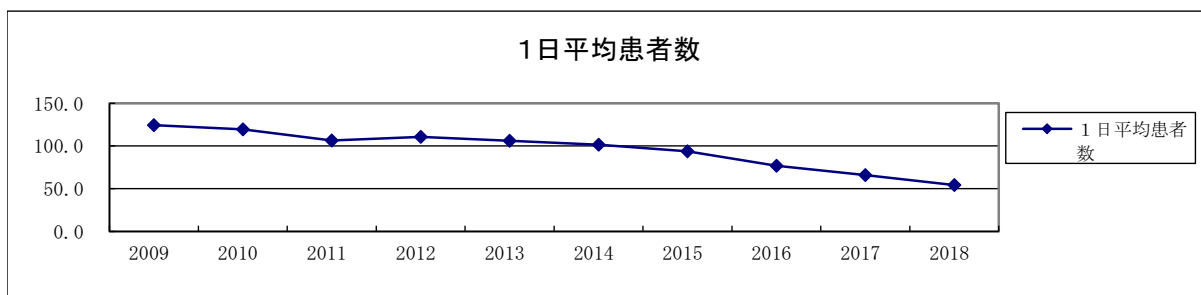
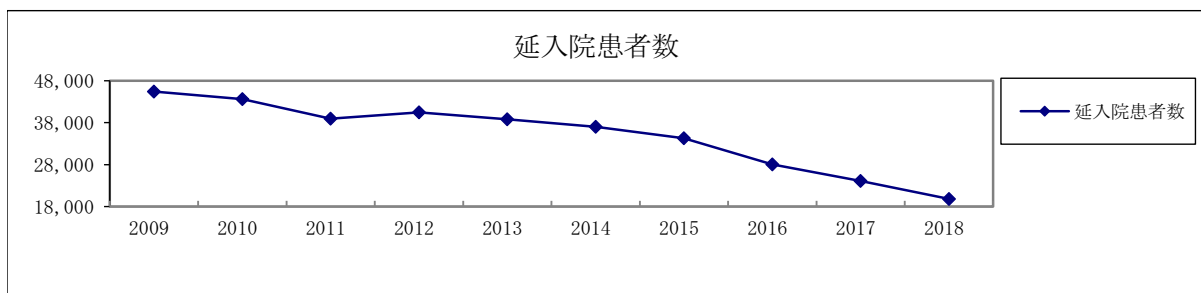
年 間 の 患 者 動 態

延入院患者数・1日平均患者数・入院患者数・病床利用率・平均在院日数 (2009～2018年度)

区分	延入院患者数	1日平均患者数	入院患者数	退院患者数	病床利用率 (%)	平均在院日数
2009	45,429	124.5	336	327	62.2	136.1
2010	43,643	119.6	258	270	59.8	164.3
2011	38,960	106.4	258	255	53.2	150.9
2012	40,467	110.9	238	245	75.9	166.6
2013	38,801	106.3	254	256	72.8	151.2
2014	37,054	101.5	251	245	69.5	148.4
2015	34,283	93.7	233	262	64.2	137.5
2016	28,087	77.0	201	202	67.5	138.4
2017	24,133	66.1	118	138	63.0	187.5
2018	19,826	54.3	114	115	51.7	172.1

(注) 1 2012年3月15日、許可病床数が200床から146床へ変更

(注) 2 2016年6月20日、許可病床数が146床から105床へ変更



２－１ 新入院患者の病名別・形態別患者数及び割合

２０１４年度

(単位：人)

病 名	措置入院	医療保護 入 院	任 意 入 院	その他	合 計
F00 アルツハイマー型認知症		37	10		47
F01 血管性認知症		7	4		11
F02 その他の疾患による認知症		9	3		12
F05 せん妄		2			2
F0 (上記以外の疾患)					
F10 アルコール使用による障害		3	11		14
F1 (上記以外の疾患)			3		3
F20 統合失調症		39	49		88
F2 (上記以外の疾患)		2	2		4
F30 躁病エピソード					
F31 双極性感情障害		4	14		18
F32 うつ病エピソード		4	13		17
F33 反復性うつ病性障害			2		2
F3 (上記以外の疾患)		1	1		2
F40 恐怖性不安障害					
F41 他の不安障害		1	6		7
F42 強迫性障害					
F43 重度ストレス反応及び適応障害					
F44 解離性（転換性）障害					
F45 身体表現性障害		2	4		6
F4 (上記以外の疾患)					
F50 摂食障害		2	1		3
F51 非器質性睡眠障害					
F5 (上記以外の疾患)					
F6 成人のパーソナリティ及び行動の障害		3	3		6
F7 精神遅滞			2		2
F84 広汎性発達障害		1			1
F8 (上記以外の疾患)					
F90 多動性障害					
F9 (上記以外の疾患)					
G40 てんかん		1	1		2
その他		3	1		4
合 計		121	130		251
構成比%		48.2	51.8		100.0

2015年度

(単位：人)

病 名	措置入院	医療保護 入 院	任 意 入 院	その他	合 計
F00 アルツハイマー型認知症		40	7		47
F01 血管性認知症		6	4		10
F02 その他の疾患による認知症		3	1		4
F05 せん妄		2			2
F0 (上記以外の疾患)					
F10 アルコール使用による障害		4			4
F1 (上記以外の疾患)		1	1		2
F20 統合失調症	1	42	42		85
F2 (上記以外の疾患)		3	4		7
F30 躁病エピソード		1			1
F31 双極性感情障害		11	10		21
F32 うつ病エピソード		9	19		28
F33 反復性うつ病性障害		1	2		3
F3 (上記以外の疾患)			1		1
F40 恐怖性不安障害					
F41 他の不安障害			4		4
F42 強迫性障害		1			1
F43 重度ストレス反応及び適応障害		1			1
F44 解離性（転換性）障害			2		2
F45 身体表現性障害					
F4 (上記以外の疾患)					
F50 摂食障害					
F51 非器質性睡眠障害					
F5 (上記以外の疾患)					
F6 成人のパーソナリティ及び行動の障害		2	1		3
F7 精神遅滞		2	2		4
F84 広汎性発達障害					
F8 (上記以外の疾患)					
F90 多動性障害					
F9 (上記以外の疾患)					
G40 てんかん			2		2
その他		1			1
合 計	1	130	102		233
構成比%	0.4	55.8	43.8		100.0

2016年度

(単位：人)

病 名	措置入院	医療保護 入 院	任 意 入 院	その他	合 計
F00 アルツハイマー型認知症		33	4		37
F01 血管性認知症		13	1		14
F02 その他の疾患による認知症		2	1		3
F05 せん妄		5	1		6
F0 (上記以外の疾患)		5	1		6
F10 アルコール使用による障害		4	2		6
F1 (上記以外の疾患)		2			2
F20 統合失調症	1	41	25		67
F2 (上記以外の疾患)		1			1
F30 躁病エピソード					
F31 双極性感情障害		9	4		13
F32 うつ病エピソード		7	9		16
F33 反復性うつ病性障害			2		2
F3 (上記以外の疾患)		1			1
F40 恐怖性不安障害					
F41 他の不安障害		3	5		8
F42 強迫性障害					
F43 重度ストレス反応及び適応障害		1			1
F44 解離性（転換性）障害					
F45 身体表現性障害		1	1		2
F4 (上記以外の疾患)					
F50 摂食障害		1			1
F51 非器質性睡眠障害					
F5 (上記以外の疾患)					
F6 成人のパーソナリティ及び行動の障害		3			3
F7 精神遅滞		3	2		5
F84 広汎性発達障害		2			2
F8 (上記以外の疾患)					
F90 多動性障害					
F9 (上記以外の疾患)					
G40 てんかん		4	1		5
その他					
合 計	1	141	59		201
構成比%	0.5	70.1	29.4		100.0

2017年度

(単位：人)

病 名	措置入院	医療保護 入 院	任 意 入 院	その他	合 計
F00 アルツハイマー型認知症		15	5		20
F01 血管性認知症		3			3
F02 その他の疾患による認知症		1	1		2
F05 せん妄		3	1		4
F0 (上記以外の疾患)		5			5
F10 アルコール使用による障害		4			4
F1 (上記以外の疾患)		2			2
F20 統合失調症	1	23	23		47
F2 (上記以外の疾患)		3	1		4
F30 躁病エピソード					
F31 双極性感情障害		2	2		4
F32 うつ病エピソード		1	5		6
F33 反復性うつ病性障害		2	2		4
F3 (上記以外の疾患)					
F40 恐怖性不安障害					
F41 他の不安障害			3		3
F42 強迫性障害					
F43 重度ストレス反応及び適応障害			1		1
F44 解離性(転換性)障害		2	1		3
F45 身体表現性障害					
F4 (上記以外の疾患)					
F50 摂食障害		1			1
F51 非器質性睡眠障害					
F5 (上記以外の疾患)					
F6 成人のパーソナリティ及び行動の障害		1			1
F7 精神遅滞		2	1		3
F84 広汎性発達障害					
F8 (上記以外の疾患)					
F90 多動性障害					
F9 (上記以外の疾患)					
G40 てんかん		1			1
その他					
合 計	1	71	46		118
構成比%	0.8	60.2	39.0		100.0

2018年度

(単位：人)

病 名	措置入院	医療保護 入 院	任 意 入 院	その他	合 計
F00 アルツハイマー型認知症		12			12
F01 血管性認知症		2			2
F02 その他の疾患による認知症		1			1
F05 せん妄		4			4
F0 (上記以外の疾患)		4	3		7
F10 アルコール使用による障害		2			2
F1 (上記以外の疾患)					
F20 統合失調症	4	24	18		46
F2 (上記以外の疾患)	1	4	1		6
F30 躁病エピソード					
F31 双極性感情障害	2	3	3		8
F32 うつ病エピソード		3	1		4
F33 反復性うつ病性障害					
F3 (上記以外の疾患)			1		1
F40 恐怖性不安障害		1			1
F41 他の不安障害		3	1		4
F42 強迫性障害					
F43 重度ストレス反応及び適応障害		1	2		3
F44 解離性（転換性）障害		1			1
F45 身体表現性障害					
F4 (上記以外の疾患)			1		1
F50 摂食障害		1			1
F51 非器質性睡眠障害					
F5 (上記以外の疾患)					
F6 成人のパーソナリティ及び行動の障害		1			1
F7 精神遅滞		1			1
F84 広汎性発達障害					
F8 (上記以外の疾患)					
F90 多動性障害					
F9 (上記以外の疾患)					
G40 てんかん		1			1
その他		5	2		7
合 計	7	74	33		114
構成比%	6.1	64.9	28.9		100.0

2－2 新入院患者の入院形態別人数と構成割合の年次推移

	2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度	
	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
措置入院			1	0.4	1	0.5	1	0.8	7	6.1
医療保護入院	121	48.2	130	55.8	141	70.1	71	60.2	74	64.9
任意入院	130	51.8	102	43.8	59	29.4	46	39.0	33	28.9
その他										
合 計	251	100	233	100	201	100	118	100	114	100

3-1 新入院患者の病名別・年齢構成

2014年度

(単位：人)

病 名 (ICD-10)	全							体	
	～19 才	20～ 29才	30～ 39才	40～ 49才	50～ 59才	60～ 69才	70才 ～	合計	占有率 (%)
F00 アルツハイマー型認知症						3	44	47	18.7
F01 血管性認知症				3			8	11	4.4
F02 その他の疾患による認知症						2	10	12	4.8
F05 せん妄							2	2	0.8
F0 (上記以外の疾患)									
F10 アルコール使用による障害				1	3	7	3	14	5.6
F1 (上記以外の疾患)				2	1			3	1.2
F20 統合失調症		5	11	20	21	26	5	88	35.1
F2 (上記以外の疾患)						1	3	4	1.6
F30 躁病エピソード									
F31 双極性感情障害			3		4	4	7	18	7.2
F32 うつ病エピソード		1	2	4	4	1	5	17	6.8
F33 反復性うつ病性障害						2		2	0.8
F3 (上記以外の疾患)		1	1					2	0.8
F40 恐怖性不安障害									
F41 他の不安障害		1	1	1	2		2	7	2.8
F42 強迫性障害									
F43 重度ストレス反応及び 適応障害									
F44 解離性（転換性）障害									
F45 身体表現性障害	1					2	3	6	2.4
F4 (上記以外の疾患)									
F50 摂食障害	1			2				3	1.2
F51 非器質性睡眠障害									
F5 (上記以外の疾患)									
F6 成人のパーソナリティー及び 行動の障害		4	1		1			6	2.4
F7 精神遅滞				2				2	0.8
F84 広汎性発達障害		1						1	0.4
F8 (上記以外の疾患)									
F90 多動性障害									
F9 (上記以外の疾患)									
G40 てんかん						1	1	2	0.8
その他						3	1	4	1.6
合 計	2	13	19	35	36	52	94	251	100.0
構成比%	0.8	5.2	7.6	13.9	14.3	20.7	37.5	100.0	

2015年度

(単位：人)

病 名 (ICD-10)	全 体							合計	占有率 (%)
	～19 才	20～ 29才	30～ 39才	40～ 49才	50～ 59才	60～ 69才	70才 ～		
F00 アルツハイマー型認知症						2	45	47	20.2
F01 血管性認知症				2		2	6	10	4.3
F02 その他の疾患による認知症							4	4	1.7
F05 せん妄						1	1	2	0.9
F0 (上記以外の疾患)									
F10 アルコール使用による障害				1	1	2		4	1.7
F1 (上記以外の疾患)		1		1				2	0.9
F20 統合失調症	2	6	11	13	19	25	9	85	36.5
F2 (上記以外の疾患)					1	1	6	8	3.4
F30 躁病エピソード						1		1	0.4
F31 双極性感情障害	1	1	1	2	4	7	5	21	9.0
F32 うつ病エピソード			4	3	5	7	9	28	12.0
F33 反復性うつ病性障害					1	2		3	1.3
F3 (上記以外の疾患)							1	1	0.4
F40 恐怖性不安障害									
F41 他の不安障害		1	1			1	1	4	1.7
F42 強迫性障害							1	1	0.4
F43 重度ストレス反応及び 適応障害				1				1	0.4
F44 解離性（転換性）障害				1			1	2	0.9
F45 身体表現性障害									
F4 (上記以外の疾患)									
F50 摂食障害									
F51 非器質性睡眠障害									
F5 (上記以外の疾患)									
F6 成人のパーソナリティー及び 行動の障害		2						2	0.9
F7 精神遅滞		1		2	1			4	1.7
F84 広汎性発達障害									
F8 (上記以外の疾患)									
F90 多動性障害									
F9 (上記以外の疾患)									
G40 てんかん				2				2	0.9
その他						1		1	0.4
合 計	3	12	17	28	32	52	89	233	100.0
構成比%	1.3	5.2	7.3	12.0	13.7	22.3	38.2	100.0	

2016年度

(単位：人)

病 名 (ICD-10)	全 体							合計	占有率 (%)
	～19 才	20～ 29才	30～ 39才	40～ 49才	50～ 59才	60～ 69才	70才 ～		
F00 アルツハイマー型認知症						3	34	37	18.4
F01 血管性認知症				1	1	2	10	14	7.0
F02 その他の疾患による認知症							3	3	1.5
F05 せん妄				1		1	4	6	3.0
F0 (上記以外の疾患)						4	2	6	3.0
F10 アルコール使用による障害						4	2	6	3.0
F1 (上記以外の疾患)				2				2	1.0
F20 統合失調症			15	15	15	11	11	67	33.3
F2 (上記以外の疾患)						1		1	0.5
F30 躁病エピソード									
F31 双極性感情障害		2		1	2	2	6	13	6.5
F32 うつ病エピソード		1	2	2	2	4	5	16	8.0
F33 反復性うつ病性障害						1	1	2	1.0
F3 (上記以外の疾患)				1				1	0.5
F40 恐怖性不安障害									
F41 他の不安障害		4		1		1	2	8	4.0
F42 強迫性障害									
F43 重度ストレス反応及び 適応障害			1					1	0.5
F44 解離性（転換性）障害									
F45 身体表現性障害							2	2	1.0
F4 (上記以外の疾患)									
F50 摂食障害		1						1	0.5
F51 非器質性睡眠障害									
F5 (上記以外の疾患)									
F6 成人のパーソナリティー及び 行動の障害		3						3	1.5
F7 精神遅滞		1		3		1		5	2.5
F84 広汎性発達障害		2						2	1.0
F8 (上記以外の疾患)									
F90 多動性障害									
F9 (上記以外の疾患)									
G40 てんかん		2			1	1	1	5	2.5
その他									
合 計		16	18	27	21	36	83	201	100.0
構成比%		8.0	9.0	13.4	10.4	17.9	41.3	100.0	

2017年度

(単位：人)

病 名 (ICD-10)	全							体	
	～19 才	20～ 29才	30～ 39才	40～ 49才	50～ 59才	60～ 69才	70才 ～	合計	占有率 (%)
F00 アルツハイマー型認知症				1	1	2	16	20	16.9
F01 血管性認知症						1	2	3	2.5
F02 その他の疾患による認知症							2	2	1.7
F05 せん妄							4	4	3.4
F0 (上記以外の疾患)						2	3	5	4.2
F10 アルコール使用による障害					1		3	4	3.4
F1 (上記以外の疾患)				2				2	1.7
F20 統合失調症	1	3	3	6	14	14	6	47	39.8
F2 (上記以外の疾患)		1		1		1	1	4	3.4
F30 躁病エピソード									
F31 双極性感情障害				1		2	1	4	3.4
F32 うつ病エピソード		1		1	2	1	1	6	5.1
F33 反復性うつ病性障害							4	4	3.4
F3 (上記以外の疾患)									
F40 恐怖性不安障害									
F41 他の不安障害		1					2	3	2.5
F42 強迫性障害									
F43 重度ストレス反応及び 適応障害		1						1	0.8
F44 解離性（転換性）障害	2			1				3	2.5
F45 身体表現性障害									
F4 (上記以外の疾患)									
F50 摂食障害							1	1	0.8
F51 非器質性睡眠障害									
F5 (上記以外の疾患)									
F6 成人のパーソナリティー及び 行動の障害			1					1	0.8
F7 精神遅滞		1	2					3	2.5
F84 広汎性発達障害									
F8 (上記以外の疾患)									
F90 多動性障害									
F9 (上記以外の疾患)									
G40 てんかん							1	1	0.8
その他									
合 計	3	8	6	13	18	23	47	118	100.0
構成比%	2.5	6.8	5.1	11.0	15.3	19.5	39.8	100.0	

2018年度

(単位：人)

病 名 (ICD-10)	全 体								合計	占有率 (%)
	～19 才	20～ 29才	30～ 39才	40～ 49才	50～ 59才	60～ 69才	70才 ～			
F00 アルツハイマー型認知症						1	13	14	12.3	
F01 血管性認知症							2	2	1.8	
F02 その他の疾患による認知症						2	3	5	4.4	
F05 せん妄					1		3	4	3.5	
F0 (上記以外の疾患)						2	4	6	5.3	
F10 アルコール使用による障害						1	1	2	1.8	
F1 (上記以外の疾患)										
F20 統合失調症		3	5	9	6	16	7	46	40.4	
F2 (上記以外の疾患)		1		1		1	3	6	5.3	
F30 躁病エピソード										
F31 双極性感情障害			1		1	4	2	8	7.0	
F32 うつ病エピソード			1		1		2	4	3.5	
F33 反復性うつ病性障害										
F3 (上記以外の疾患)							1	1	0.9	
F40 恐怖性不安障害										
F41 他の不安障害			1	1		2	1	5	4.4	
F42 強迫性障害										
F43 重度ストレス反応及び 適応障害	1			1	1			3	2.6	
F44 解離性（転換性）障害		1						1	0.9	
F45 身体表現性障害										
F4 (上記以外の疾患)				1				1	0.9	
F50 摂食障害							1	1	0.9	
F51 非器質性睡眠障害										
F5 (上記以外の疾患)										
F6 成人のパーソナリティ及び 行動の障害					1			1	0.9	
F7 精神遅滞		1						1	0.9	
F84 広汎性発達障害										
F8 (上記以外の疾患)										
F90 多動性障害										
F9 (上記以外の疾患)										
G40 てんかん			1					1	0.9	
その他							2	2	1.8	
合 計	1	6	9	13	11	29	45	114	100.0	
構成比%	0.9	5.3	7.9	11.4	9.6	25.4	39.5	100.0		

3-2 新入院患者の病名別人数と構成割合の年次推移

病 名 (ICD-10)	2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度	
	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
F00 アルツハイマー型認知症	47	18.7	47	20.2	37	18.4	20	16.9	14	12.3
F01 血管性認知症	11	4.4	10	4.3	14	7.0	3	2.5	2	1.8
F02 その他の疾患による認知症	12	4.8	4	1.7	3	1.5	2	1.7	5	4.4
F05 せん妄	2	0.8	2	0.9	6	3.0	4	3.4	4	3.5
F0 (上記以外の疾患)					6	3.0	5	4.2	6	5.3
F10 アルコール使用による障害	14	5.6	4	1.7	6	3.0	4	3.4	2	1.8
F1 (上記以外の疾患)	3	1.2	2	0.9	2	1.0	2	1.7		
F20 統合失調症	88	35.1	85	36.5	67	33.3	47	39.8	46	40.4
F2 (上記以外の疾患)	4	1.6	8	3.4	1	0.5	4	3.4	6	5.3
F30 躁病エピソード			1	0.4						
F31 双極性感情障害	18	7.2	21	9.0	13	6.5	4	3.4	8	7.0
F32 うつ病エピソード	17	6.8	28	12.0	16	8.0	6	5.1	4	3.5
F33 反復性うつ病性障害	2	0.8	3	1.3	2	1.0	4	3.4		
F3 (上記以外の疾患)	2	0.8	1	0.4	1	0.5			1	0.9
F40 恐怖性不安障害										
F41 他の不安障害	7	2.8	4	1.7	8	4.0	3	2.5	5	4.4
F42 強迫性障害			1	0.4						
F43 重度ストレス反応及び適応障害			1	0.4	1	0.5	1	0.8	3	2.6
F44 解離性（転換性）障害			2	0.9			3	2.5	1	0.9
F45 身体表現性障害	6	2.4			2	1.0				
F4 (上記以外の疾患)									1	0.9
F50 摂食障害	3	1.2			1	0.5	1	0.8	1	0.9
F51 非器質性睡眠障害										
F5 (上記以外の疾患)										
F6 成人のパーソナリティ及び行動の障害	6	2.4	2	0.9	3	1.5	1	0.8	1	0.9
F7 精神遅滞	2	0.8	4	1.7	5	2.5	3	2.5	1	0.9
F84 広汎性発達障害	1	0.4			2	1.0				
F8 (上記以外の疾患)										
F90 多動性障害										
F9 (上記以外の疾患)										
G40 てんかん	2	0.8	2	0.9	5	2.5	1	0.8	1	0.9
その他	4	1.6	1	0.4					2	1.8
合 計	251	100	233	100	201	100	118	100	114	100

4 新入院患者の年齢階層別人数及び割合の年次推移

年度 年齢階層	2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度	
	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
～ 19才	2	0.8	3	1.3	0	0.0	3	2.5	1	0.9
20才～29才	13	5.2	12	5.2	16	8.0	8	6.8	6	5.3
30才～39才	19	7.6	17	7.3	18	9.0	6	5.1	9	7.9
40才～49才	35	13.9	28	12.0	27	13.4	13	11.0	13	11.4
50才～59才	36	14.3	32	13.7	21	10.4	18	15.3	11	9.6
60才～69才	52	20.7	52	22.3	36	17.9	23	19.5	29	25.4
70才～	94	37.5	89	38.2	83	41.3	47	39.8	45	39.5
合 計	251	100.0	233	100.0	201	100.0	118	100.0	114	100.0

5 入院患者の在院期間別人数及び割合（３月３１日現在）

	2014年度 (H26. 6. 30現在)	2015年度 (H28. 3. 31現在)	2016年度 (H29. 3. 31現在)	2017年度 (H30. 3. 31現在)	2018年度 (H31. 3. 31現在)
1 ヶ月未満	30	16	17	9	13
(%)	27.3	20.3	21.8	15.5	22.8
1 ヶ月～3 ヶ月未満	18	15	19	8	11
(%)	16.4	19.0	24.4	13.8	19.3
3 ヶ月～6 ヶ月未満	14	16	9	8	5
(%)	12.7	20.3	11.5	13.8	8.8
6 ヶ月～1 年未満	12	5	10	8	6
(%)	10.9	6.3	12.8	13.8	10.5
1 年～5 年未満	18	18	14	19	13
(%)	16.4	22.8	17.9	32.8	22.8
5 年～10 年未満	9	4	4	0	4
(%)	8.2	5.1	5.1	0.0	7.0
10 年～20 年未満	3	2	2	3	2
(%)	2.7	2.5	2.6	5.2	3.5
20 年以上	6	3	3	3	3
(%)	5.5	3.8	3.8	5.2	5.3
合 計	110	79	78	58	57
(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

1 年未満	74	52	55	33	35
(%)	67.3	65.8	70.5	56.9	61.4
1 年以上	36	27	23	25	22
(%)	32.7	34.2	29.5	43.1	38.6

(再掲) 5 年以上	18	11	9	9	9
(%)	16.4	13.9	11.5	15.5	15.8

6－1 退院患者の退院先別入院期間別人数及び割合

2014年度

入院期間 区分	1月 未満	1月 ～3月	3月 ～6月	6月 ～1年	1年 ～3年	3年 ～5年	5年 以上	計	構成比 (%)
単身生活	5	1						6	2.4
家族と同居	28	56	29	5	4			122	49.8
老人施設等	4	15	2	2	1			24	9.8
転院	17	13	9	7	4		4	54	22.0
共同住居	4	10	10	7	3		2	36	14.7
死亡				1			2	3	1.2
警察								0	0.0
その他								0	0.0
計	58	95	50	22	12	0	8	245	100.0
(%)	23.7	38.8	20.4	9.0	4.9	0.0	3.3	100.0	

2015年度

入院期間 区分	1月 未満	1月 ～3月	3月 ～6月	6月 ～1年	1年 ～3年	3年 ～5年	5年 以上	計	構成比 (%)
単身生活		2	1					3	1.1
家族と同居	23	61	45	12	1			142	54.2
老人施設等	1	13	10	5	2	2		33	12.6
転院	9	6	7	3	4	2	2	33	12.6
共同住居	4	21	8	6	8	2		49	18.7
死亡	1	1						2	0.8
警察								0	0.0
その他								0	0.0
計	38	104	71	26	15	6	2	262	100.0
(%)	14.5	39.7	27.1	9.9	5.7	2.3	0.8	100.0	

2016年度

入院期間 区分	1月 未満	1月 ～3月	3月 ～6月	6月 ～1年	1年 ～3年	3年 ～5年	5年 以上	計	構成比 (%)
単身生活								0	0.0
家族と同居	25	52	16	1	1			95	47.0
老人施設等	2	2	3	3	1			11	5.4
転院	14	12	9	4	7	1	1	48	23.8
共同住居	7	21	6	4	3		1	42	20.8
死亡		3		2	1			6	3.0
警察								0	0.0
その他								0	0.0
計	48	90	34	14	13	1	2	202	100.0
(%)	23.8	44.6	16.8	6.9	6.4	0.5	1.0	100.0	

2017年度

入院期間 区分	1月 未満	1月 ～3月	3月 ～6月	6月 ～1年	1年 ～3年	3年 ～5年	5年 以上	計	構成比 (%)
単身生活	1			2				3	2.2
家族と同居	13	39	10	7				69	50.0
老人施設等	2	2	1	1	1		1	8	5.8
転院	5	4	2	6	2	1	1	21	15.2
共同住居	5	7	10	1	3	1	1	28	20.3
死亡	3	1	1	2	1	0	1	9	6.5
警察									0.0
その他									0.0
計	29	53	24	19	7	2	4	138	100.0
(%)	21.0	38.4	17.4	13.8	5.1	1.4	2.9	100.0	

2018年度

入院期間 区分	1月 未満	1月 ～3月	3月 ～6月	6月 ～1年	1年 ～3年	3年 ～5年	5年 以上	計	構成比 (%)
単身生活								0	0.0
家族と同居	17	21	5	3	1			47	40.9
老人施設等	5	4	5		1			15	13.0
転院	12	6	5		3	1	1	28	24.3
共同住居	6	6	3	3	3			21	18.3
死亡					3	1		4	3.5
警察								0	0.0
その他								0	0.0
計	40	37	18	6	11	2	1	115	100.0
(%)	34.8	32.2	15.7	5.2	9.6	1.7	0.9	100.0	

6-2 退院患者の退院先別人数と構成割合の年次推移

年度 区分	2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度	
	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
単身生活	6	2.4	3	1.1			3	2.2		0.0
家族と同居	122	49.8	142	54.2	95	47.0	69	50.0	47	40.9
老人施設等	24	9.8	33	12.6	11	5.4	8	5.8	15	13.0
転院	54	22.0	33	12.6	48	23.8	21	15.2	28	24.3
共同住居	36	14.7	49	18.7	42	20.8	28	20.3	21	18.3
死亡	3	1.2	2	0.8	6	3.0	9	6.5	4	3.5
警察										
その他										
計	245	100.0	262	100.0	202	100.0	138	100.0	115	100.0

7 入院患者の居住地域別人数及び割合

		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度	
		患者数	(%)	患者数	(%)	患者数	(%)	患者数	(%)	患者数	(%)
北網圏	網走市	645	44.9	638	47.4	515	47.1	443	48.6	324	42.6
	北見市	165	11.5	118	8.8	65	5.9	50	5.5	53	7.0
	大空町	85	5.9	47	3.5	37	3.4	42	4.6	40	5.3
	美幌町	83	5.8	102	7.6	96	8.8	32	3.5	52	6.8
	津別町	2	0.1	13	1.0	13	1.2	25	2.7	18	2.4
	斜里町	143	9.9	96	7.1	76	6.9	83	9.1	54	7.1
	清里町	79	5.5	79	5.9	63	5.8	50	5.5	41	5.4
	小清水町	40	2.8	67	5.0	25	2.3	21	2.3	39	5.1
	訓子府町	4	0.3	2	0.1			6	0.7		
	置戸町										
遠紋圏	紋別市	22	1.5	52	3.9	51	4.7	48	5.3	40	5.3
	佐呂間町	17	1.2	16	1.2	15	1.4	12	1.3	12	1.6
	遠軽町	47	3.3	42	3.1	54	4.9	47	5.2	40	5.3
	湧別町	34	2.4	27	2.0	34	3.1	15	1.6	12	1.6
	滝上町	15	1.0	15	1.1	12	1.1	12	1.3	13	1.7
	興部町	1	0.1	3	0.2	5	0.5	13	1.4	4	0.5
	西興部町										
	雄武町	10	0.7								
その他	他道内	46	3.2	23	1.7	33	3.0	9	1.0	18	2.4
	道外			7	0.5			4	0.4	1	0.1
	その他										
合 計		1,438	100	1,347	100	1,094	100	912	100	761	100

8 入院患者の経路別人数及び割合

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
本人自らの希望	60	68	63	44	4
(%)	21.3	20.2	19.7	21.4	3.2
家族・同僚等が同伴	116	110	116	54	42
(%)	41.1	32.7	36.3	26.2	33.6
保健所・福祉事務所の紹介	0	1	0	3	3
(%)	0.0	0.3	0.0	1.5	2.4
他の精神科病院等の紹介	3	2	2	0	2
(%)	1.1	0.6	0.6	0.0	1.6
精神科以外の病院等の紹介	31	51	59	41	26
(%)	11.0	15.2	18.4	19.9	20.8
警察・消防署等の紹介	12	20	21	14	22
(%)	4.3	6.0	6.6	6.8	17.6
その他	60	84	59	50	26
(%)	21.3	25.0	18.4	24.3	20.8
計	282	336	320	206	125
(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※ 経路別人数は複数計上あり

2016年度

入院経路	本人	家族		施設職員		保健所 警察等	計
		施設 職員	保健所 警察等	施設 職員	保健所 警察等		
自宅	63	89	0	5	3	0	167
一般病院	22	31	2	0	4	0	59
精神科病院	0	2	0	0	0	0	2
施設	13	12	6	0	17	0	48
グループホーム	5	4	1	0	8	0	19
その他（旅行中・警察等）	8	7	0	2	2	1	25
計	111	145	9	7	34	1	320

2017年度

入院経路	本人	家族		施設職員		保健所 警察等	計
		施設 職員	保健所 警察等	施設 職員	保健所 警察等		
自宅	44	54	1	2	1	0	112
一般病院	14	19	3	0	4	0	41
精神科病院	0	0	0	0	0	0	0
施設	9	6	5	0	6	0	27
グループホーム	6	4	3	0	5	0	18
その他（旅行中・警察等）	3	2	0	1	0	0	8
計	76	85	12	3	16	0	206

2018年度

入院経路	本人	家族		施設職員		保健所 警察等	計
		施設 職員	保健所 警察等	施設 職員	保健所 警察等		
自宅	4	42	0	3	0	0	62
一般病院	3	20	0	0	1	0	26
精神科病院	0	1	1	0	0	0	2
施設	1	4	2	0	8	0	17
グループホーム	0	2	2	0	6	0	10
その他（旅行中・警察等）	2	1	0	0	0	0	8
計	10	70	5	3	15	0	125

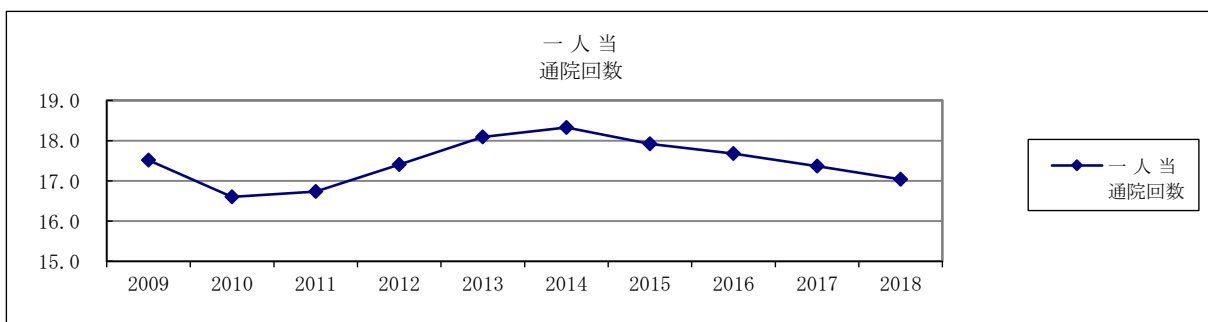
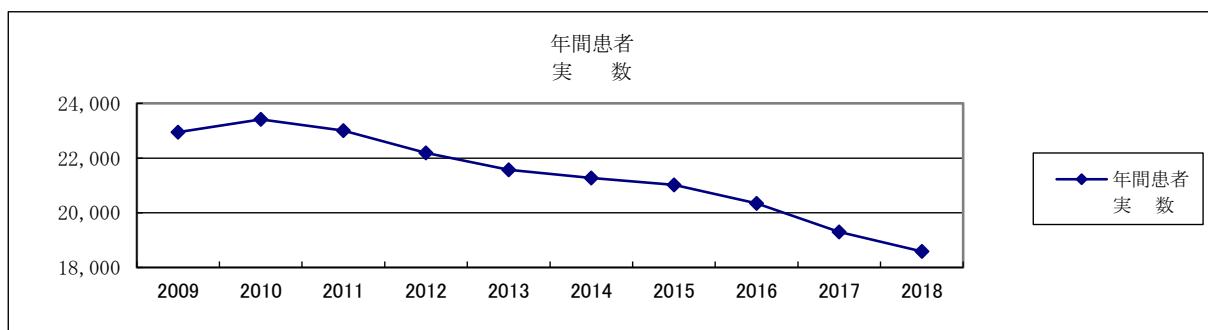
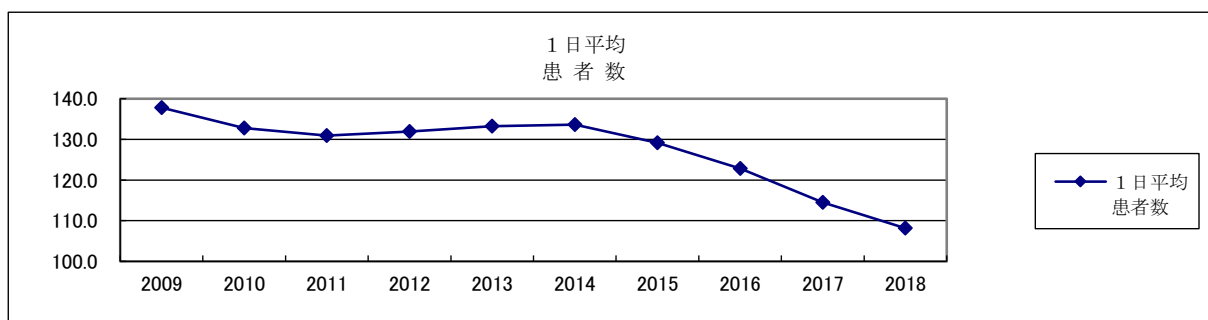
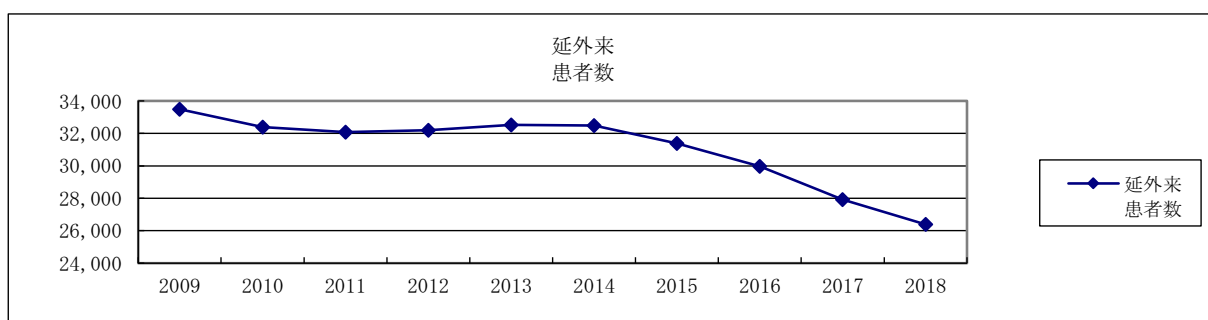
9-1 外来患者数の推移

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
延べ外来患者数	32,480	31,392	29,972	27,931	26,390
年間実患者数	21,267	21,024	20,347	19,298	18,586
新規外来患者数	870	819	685	610	595
1日平均患者数	133.7	129.2	122.8	114.5	108.2
休日診療患者数	25	12	5	4	7
時間外診療患者数	5	6	4	6	12
深夜診療患者数	7	6	3	2	4

9-2 外来患者数の推移（2008年度～2017年度）

（単位：人）

区分	延外来 患者数	新外来 患者数	1日平均 患者数	年間患者 実数	一人当 通院回数
2009	33,488	834	137.8	22,950	17.5
2010	32,390	843	132.7	23,413	16.6
2011	32,073	758	130.9	23,001	16.7
2012	32,188	730	131.9	22,189	17.4
2013	32,515	670	133.3	21,569	18.1
2014	32,480	870	133.7	21,267	18.3
2015	31,392	819	129.2	21,024	17.9
2016	29,972	685	122.8	20,347	17.7
2017	27,931	610	114.5	19,298	17.4
2018	26,390	595	108.2	18,586	17.0



10 初診外来患者の病名別分類

病名 (ICD-10)	2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度	
	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)
F 0	166	19.1	141	17.2	121	17.7	120	19.7	122	20.5
F 1	10	1.1	11	1.3	6	0.9	9	1.5	9	1.5
F 2	39	4.5	46	5.6	24	3.5	19	3.1	27	4.5
F 3	172	19.8	209	25.5	156	22.8	82	13.4	82	13.8
F 4	251	28.9	206	25.2	207	30.2	157	25.7	165	27.7
F 5	74	8.5	55	6.7	28	4.1	10	1.6	10	1.7
F 6	1	0.1	4	0.5			4	0.7	3	0.5
F 7	49	5.6	49	6.0	45	6.6	51	8.4	45	7.6
F 8	7	0.8	9	1.1	21	3.1	24	3.9	12	2.0
F 9	6	0.7	5	0.6	5	0.7	5	0.8	18	3.0
G	6	0.7	2	0.2	4	0.6	54	8.9	39	6.6
その他	89	10.2	82	10.0	68	9.9	75	12.3	63	10.6
合 計	870	100.0	819	100.0	685	100.0	610	100.0	595	100.0

F0 : 症状性を含む器質性精神障害

F1 : 精神作用物質使用による精神及び行動の障害

F2 : 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害

F3 : 気分（感情）障害

F4 : 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害

F5 : 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群

F6 : 成人の人格及び行動の障害

F7 : 知的障害（精神遅滞）

F8 : 心理的発達の障害

F9 : 小児（児童）期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害

G : 神経系の疾患

その他 : 精神によらない内科的、外科的疾患

1 1 外来患者の居住地域別人数及び割合

		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度	
		患者数	(%)	患者数	(%)	患者数	(%)	患者数	(%)	患者数	(%)
北網圏	網走市	10,978	51.6	10,943	52.1	10,505	51.6	10,302	53.4	9,927	53.4
	北見市	1,285	6.0	1,228	5.8	1,336	6.6	1,346	7.0	1,353	7.3
	大空町	1,326	6.2	1,326	6.3	1,237	6.1	1,204	6.2	1,119	6.0
	美幌町	1,425	6.7	1,358	6.5	1,326	6.5	1,256	6.5	1,239	6.7
	津別町	304	1.4	289	1.4	278	1.4	226	1.2	227	1.2
	斜里町	3,131	14.7	3,218	15.3	3,055	15.0	2,827	14.6	2,596	14.0
	清里町	832	3.9	794	3.8	715	3.5	697	3.6	706	3.8
	小清水町	987	4.6	941	4.5	906	4.5	801	4.2	797	4.3
	訓子府町	55	0.3	56	0.3	56	0.3	43	0.2	45	0.2
	置戸町	0	0.0		0.0	7	0.0	12	0.1	14	0.1
遠紋圏	紋別市	115	0.5	97	0.5	102	0.5	71	0.4	82	0.4
	佐呂間町	143	0.7	104	0.5	109	0.5	85	0.4	94	0.5
	遠軽町	73	0.3	93	0.4	95	0.5	74	0.4	66	0.4
	湧別町	110	0.5	97	0.5	111	0.5	77	0.4	69	0.4
	滝上町	23	0.1	27	0.1	35	0.2	28	0.1	28	0.2
	興部町	45	0.2	52	0.2	41	0.2	32	0.2	28	0.2
	西興部町		0.0		0.0		0.0	0	0.0	0	0.0
	雄武町	12	0.1	8	0.0		0.0	0	0.0	0	0.0
その他	他道内	298	1.4	250	1.2	263	1.3	194	1.0	174	0.9
	道外	27	0.1	20	0.1	7	0.0	23	0.1	22	0.1
	その他	98	0.5	123	0.6	163	0.8	0	0.0	0	0.0
合 計		21,267	100	21,024	100	20,347	100	19,298	100	18,586	100

1 2 診療時間以外の外来診療件数内訳

		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
初診	時間外	5	6	1	3	4
	休 日	13	3	2	2	2
	深 夜	2	1	2		1
	計	20	10	5	5	7
再診	再診	時間外		3	3	8
		休 日	12	7	2	5
		深 夜	3	4	1	3
		計	15	11	7	16
	電話再診	時間外				
		休 日		2	1	
		深 夜	2	1		
		計	2	3	1	
	計	時間外		3	3	8
		休 日	12	9	2	5
		深 夜	5	5	2	3
		計	17	14	7	16
合計	時間外	6	4	4	6	12
	休 日	12	5	5	4	7
	深 夜	6	3	3	2	4
	計	24	12	12	12	23

1 3 - 1 精神科救急医療システム実績

年 度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
(システム実施日数)	(183)	(183)	(176)	(183)	(181)
システム取扱件数	13	22	37	31	14
電 話 相 談		9	25	23	10
外 来	7	5	5	3	1
入 院	6	8	7	5	3

1 3 - 2 救急車による患者搬入件数の年次推移

年 度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
総 数	47	36	26	32	17
時 間 外	29	24	9	16	5

第4 経営概況

1 決算状況

(単位：千円、%)

款 項 目	2016年度	2017年度	2018年度	16年度対比	17年度対比
	A	B	C	C/A	C/B
病 院 事 業 収 益	932,630	771,432	739,772	79.3	95.8
医 業 収 益	678,951	608,579	551,845	81.2	90.6
う ち 入 院 収 益	427,857	369,377	312,738	73.0	84.6
う ち 外 来 収 益	241,259	228,918	230,818	95.6	100.8
うちその他医業収益	9,835	10,284	8,289	84.2	80.6
医 業 外 収 益	252,509	162,559	185,539	73.4	114.1
特 別 利 益	1,170	294	2,388	204.1	812.2
病 院 事 業 費 用	1,655,335	1,493,672	1,672,710	101.0	111.9
医 業 費 用	1,601,189	1,437,548	1,567,422	97.8	109.0
給 与 費	855,332	787,226	864,967	101.1	109.8
う ち 退 職 給 与 金	142,348	69,440	105,376	74.0	151.7
材 料 費	92,101	77,562	71,709	77.8	92.4
う ち 医 薬 材 料 費	91,488	76,029	70,109	76.6	92.2
経 費	319,580	341,394	355,384	111.2	104.0
う ち 旅 費	1,952	3,678	2,956	151.4	80.3
う ち 需 用 費	45,408	46,116	49,418	108.8	107.1
う ち 修 繕 費	3,732	5,468	5,906	158.2	108.0
う ち 委 託 料	214,499	255,359	256,010	119.3	100.2
うち使用料賃借料	18,891	20,342	19,452	102.9	95.6
う ち 役 務 費	31,356	6,739	17,557	55.9	260.5
減 価 償 却 費	229,737	227,916	270,049	117.5	118.4
資 産 減 耗 費	101,401	263	174	0.1	66.1
研 究 研 修 費	3,038	3,187	5,139	169.1	161.2
医 業 外 費 用	53,168	55,574	57,817	108.7	104.0
特 別 損 失	978	550	47,471	4,853.8	8,631.0
損 益	-722,705	-722,240	-932,938	129.0	129.1
外来収益/医業収益(%)	35.5	37.6	41.8	117.7	111.1
医業費用/医業収益(%)	235.8	236.2	284.0	120.4	120.2
給与費 / 医業収益(%)	125.9	129.3	156.7	124.4	121.1
医業収益 - 医業費用	-922,238	-828,969	-1,015,577	110.1	122.5

2 経営分析調

区 分 項 目	算 出 基 礎	2016年度	2017年度	2018年度
病 床 利 用 率 (%)	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延許可病床数}} \times 100$	67.5	63.0	51.7
入 院 外 来 患 者 比 率 (%)	$\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{年延入院患者数}} \times 100$	106.7	115.7	133.1
患 者 1 人 1 日 当 た り 入院収益 (円)	$\frac{\text{入院収益}}{\text{年延入院患者数}}$	15,233	15,306	15,774
患 者 1 人 1 日 当 た り 外来収益 (円)	$\frac{\text{外来収益}}{\text{年延外来患者数}}$	8,049	8,196	8,746
患 者 1 人 1 日 当 た り 収 益 (円)	$\frac{\text{入院・外来収益}}{\text{年延入院外来患者数}}$	11,525	11,492	11,761
投 薬 使 用 効 率 (%)	$\frac{\text{投薬収入}}{\text{投薬薬品費}} \times 100$	127.7	131.0	130.1
注 射 薬 使 用 効 率 (%)	$\frac{\text{注射収入}}{\text{注射薬品費}} \times 100$	115.6	116.8	114.0
職 員 給 与 費 率 (%)	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{医業収益}} \times 100$	126.0	129.4	156.7
材 料 費 率 (%)	$\frac{\text{材料費}}{\text{医業収益}} \times 100$	13.6	12.7	13.0
経 常 収 支 比 率 (%)	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	56.3	51.6	44.2
医 業 収 支 比 率 (%)	$\frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}} \times 100$	42.4	42.3	35.2

3 診療行為別件数

年 度 区 分		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
初 診		892	879	748	644	628
投 薬	入 院	173,073	176,510	126,012	116,386	92,793
	外 来	3,647	4,448	4,731	4,226	6,711
	合 計	176,720	180,958	130,743	120,612	99,504
画 像 診 断	入 院	11,267	12,307	18,228	15,098	15,152
	外 来	8,759	7,538	14,346	20,135	21,196
	合 計	20,026	19,845	32,574	35,233	36,348
検 査	入 院	55,770	53,374	45,090	34,484	30,012
	外 来	48,773	41,125	41,124	41,206	48,648
	合 計	104,543	94,499	86,214	75,690	78,660
特別食（単位：食）		16,997	19,681	15,561	17,507	11,079
訪 問 看 護		2,151	2,187	2,125	2,472	2,562
往 診		0	0	0	0	0
作 業 療 法		4,412	4,996	4,387	4,492	4,257
薬 剤 管 理 指 導				243	321	282
デ イ ケ ア		9,045	8,218	7,608	6,996	6,256

*薬剤管理指導は、2016年10月より実施

4 病床１００床当たり職員数

年 度 職 種 等	2014 年 度	2015 年 度	2016 年 度	2017 年 度	2018 年 度
病 床 数	146	146	105	105	105
医 師	3.4	3.4	4.8	4.8	4.8
看 護 部 門	43.8	40.4	56.2	49.5	49.5
薬 剤 部 門	1.2	1.2	2.6	2.6	2.6
栄 養 部 門	0.7	0.7	1.0	1.0	1.0
画 像 診 断 部 門	1.4	1.4	1.9	1.9	1.9
臨 床 検 査 部 門	1.4	1.4	1.9	1.9	1.9
地 域 連 携 部 門	—	—	—	4.8	4.8
作 業 療 法 部 門	1.2	0.7	1.0	—	—
デ イ ケ ア 部 門	3.4	2.7	3.8	—	—
リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 部 門	—	—	—	4.8	4.8
心 理 判 定 部 門	—	—	—	1.0	1.0
認 知 症 疾 患 医 療 セ ン タ ー 部 門	1.4	2.1	2.9	1.9	1.9
指 導 部 門	—	—	—	—	—
そ の 他	—	—	—	—	—
事 務 部 門	6.2	5.5	7.6	8.6	8.6
合 計	64.1	59.5	83.7	82.8	82.8

1 職員数には、委嘱医、非常勤職員、臨時職員を含み、委嘱医、非常勤職員は常勤換算し算出

2 看護部門には、看護助手を含む

3 職員数＝年度末職員数／年度末病床数×１００

4 平成２８年６月２０日から病床数１０５床に変更

5 医薬材料使用効率調

(単位：円、%)

年 度 区 分		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
投 薬 注 射 薬 品 計	費用 a	33,209,451	32,967,106	25,628,498	21,838,270	17,283,826
	収益 b	42,447,149	42,139,331	32,736,513	28,604,083	22,480,641
	率 b/a	127.8	127.8	127.7	131.0	130.1
そ の 他 医 薬 材 料 合 計	費用 a	31,621,292	43,051,789	47,243,571	38,565,128	37,897,827
	収益 b	36,625,999	49,398,931	54,636,497	45,044,425	43,202,152
	率 b/a	115.8	114.7	115.6	116.8	114.0
計	費用 a	76,018,895	72,872,069	60,397,798	60,397,798	55,181,653
	収益 b	91,538,262	87,373,010	73,648,508	73,648,508	65,682,793
	率 b/a	120.4	119.9	121.9	121.9	119.0
計	費用 a	13,175,840	12,256,154	12,182,034	10,691,891	10,134,816
	収益 b	219,094,755	210,733,725	195,858,307	190,032,484	189,108,351
	率 b/a	1,662.9	1,719.4	1,607.8	1,777.4	1,865.9
計	費用 a	89,194,735	85,128,223	72,579,832	71,089,689	65,316,469
	収益 b	310,633,017	298,106,735	269,506,815	263,680,992	254,791,144
	率 b/a	348.3	350.2	371.3	370.9	390.1

※ 「その他医薬材料」とは、検査、X線、処置、手術、精神科専門療法に係るものの合計である。

6 給食収益に対する材料費調

(単位：円、%)

年 度 区 分		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
(うち用具費分)		(445,875)	(203,835)	(62,949)	(64,118)	(120,153)
費 用 A		31,269,915	29,149,069	24,042,206	21,875,413	17,690,212
収 益 B		70,167,562	65,556,136	53,391,266	45,559,912	36,666,724
率 A/B		44.6	44.5	45.0	48.0	48.2
(うち用具費分)		(12)	(6)	(2)	(3)	(6)
1人1日当たり費用		844	850	856	906	892

第5 地域支援活動

1 診療支援

J A北海道厚生連網走厚生病院には精神科の専門医が配置されていないが、入院患者の中には主疾病とは別に精神的な治療を必要とする患者がおり、臨時的な専門医による診療が必要な状況から当院が支援を行っている。

網走市内で精神科専門医を要しているのは当院のみであり、公的医療機関として地域の医療機関への補完的応援を行い地域の医療確保に努める必要があることから、当該病院に対し診療支援を行っている。

2 地域の保健、予防活動

地域の保健、予防活動の普及、促進等のため、関係機関への協力、支援を行っている。

機 関 名	内 容
北海道森林管理局	心の健康づくり相談員
北海道警察本部	鉄砲刀剣類所持等取締法に基づく指定医
北海道保健福祉部	精神科病院実地審査委員
北海道教育委員会	心の健康相談員
北海道オホーツク総合振興局	精神保健医
	生活保護法による委嘱医
	精神保健相談事業
	思春期相談事業
北海道網走高等看護学院	講師
北海道網走養護学校	学校医
道立心身障害者総合相談所	一般巡回相談相談医
網走市	福祉事務所嘱託医(生活保護・特別障害者手当・子供発達支援センター業務)
	老人ホーム入所判定会議委員
	教育支援委員会委員
網走市外3町障害支援区分認定審査会	委員
網走市外3町介護認定審査会	委員
美幌地域3町障害程度区分認定等審査会	委員
網走刑務所	非常勤医師
J A北海道厚生連網走厚生病院	委嘱医師
網走地方精神保健協会	会長ほか役員、事務局員

3 講演

地方公共団体や各種団体からの依頼を受け、地域の保健活動の普及、促進等のため、講演を行っている。

年 月 日	講演者	演 題	主 催
H30. 11. 14	草野章子	正しく知ろう認知症	網走市

4 自助グループへの支援

A・A（アルコールの自助グループ）活動の支援

アルコール依存症の治療は、薬物や精神療法には限界があり、仲間同士の体験や知恵から、断酒を自らが選び取る自助グループの存在は欠くことができないものであり、病院の近くに参加できるグループの存在は大きい。

現在、市内では、網走グループが、毎週月曜日の18時45分から20時まで、当院相談室を使用して、ミーティング活動を行っている。

グループへの支援は、外来看護師が窓口を担当し、ミーティング開催に向けて、入院、通院中の関係患者に通知し、参加を促している。

また、保健所主催のA A家族学習会への支援を行っている。

5 グループホームと地域活動支援センターの支援

市内にある共同住居（グループホーム）と地域共同作業所に対し、運営委員会やミーティングへの参加、訪問看護、相談及び指導員との連絡・調整等の支援を行っている。

6 網走保健所、市町村等との連携

(1) サポート会議

精神障がい者が円滑な地域生活ができるよう、関係者が情報交換を行い、連携の強化を図るため、月1回、地域の保健福祉担当者とケース検討を行っている。

年度別のケース検討件数は、次表のとおりである。

年度別ケース検討事例数													(単位：件)
月 年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2014年度	15	17	12	18	20	14	23	15	15	6	12	17	184
2015年度	17	11	20	18	22	16	16	14	15	10	14	7	180
2016年度	12	12	13	14	13	10	10	12	10	8	11	18	144
2017年度	11	11	15	9	9	9	9	5	13	10	10	15	126
2018年度	8	7	7	9	7	14	5	9	10	3	3	3	85

(2) ヘルパー会議

市役所保健福祉課・保健センター職員、ホームヘルパーと精神障がい者や認知症老人の在宅支援などのケース検討等を隔月に1回、計146件実施している。
また、必要に応じ訪問看護ステーションなどと連携している。

(3) 心の健康相談

地域、職場などの各ライフステージにわたる精神的不健康、不適応状態にある者の相談援助を行い、健康状態の回復を目指したり、精神疾患の早期発見、早期治療、更には、精神障がいを有する者やその家族が抱えている問題に相談援助し、家族の問題の軽減を図る目的で網走保健所が実施している事業であり、月1回、当院医師が協力している。

(4) 移動精神保健相談

町内に精神科の医療機関がない住民に対し、身近な地域で容易に相談が受けられる機会を提供することを目的に保健所が実施している事業であり、当院医師が協力している。

(5) 思春期保健相談事業

中高校生等思春期における子どもとその親を対象に医師、保健師により思春期に関する相談を目的に保健所が実施している事業であり、当院医師が協力している。

(6) 通院患者の主治医相談

保健所保健師が、訪問指導などのために主治医との相談を求めてきた場合、随時、応じている。

対応困難なケースについては、事例検討会などを開催し、関係者を含めた主治医との連携を図っている。

その他退院予定者が対象となる場合もある。

(7) 福祉サービスとの連携

生活保護受給者等について、市及び総合振興局の生活保護担当者による主治医相談が、随時、行われている。

当院の場合、疾病による生活障害のため、生活保護を受給している障がい者が比較的多く、病状が悪化したことにより、緊急に相談を受けることもある。

(8) 介護保険制度への協力

市町村からの依頼により、主治医意見書を記載している。

介護保険主治医意見書取扱件数

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
件数	292	297	306	213	143

(9) 障害者自立支援制度への協力

市町村からの依頼により、主治医意見書を記載している。

障害者自立支援主治医意見書取扱件数

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
件数	102	92	76	88	92

第6 研修、教育・実習

1 院内研修開催状況

開催年月日	研修会等の名称・内容	参加数	備考(講師等)
2018. 4. 2	新規採用職員研修	4名	副院長兼総看護師長ほか
2018. 6. 6	医療安全研修 (事故集計結果等)	43名	医療安全管理委員会
2018. 7. 9 7. 30	感染対策研修 (手指衛生)	51名	感染対策委員会 担当：感染リンクナース
2018. 8. 10	患者接遇・マナー勉強会	38名	患者サービス向上委員会 講師：北海道医療情報 サービス 村田信子
2018. 10. 3	救命処置研修会	24名	網走厚生病院谷口医師ほか 協力：網走地区消防組合
2018. 9. 14 10. 12	精神科感染制御セミナー伝達講習会	63名	感染対策委員会 講師：中島薬剤師
2018. 10. 26	栄養管理研修会	29名	栄養サポート(NST)チーム
2019. 11. 12 11. 19	感染性胃腸炎予防対策研修	40名	感染対策委員会 担当：感染リンクナース
2018. 11. 15 12. 20	行動制限研修会	83名	行動制限最小化委員会
2018. 12. 18	接遇の取組報告会	29名	患者サービス向上委員会
2018. 12. 12 12. 21 2019. 2 6日間	包括的暴力防止プログラム研修 (1・4・7・8・17・18日)	60名 19名	医療安全管理委員会 担当：リスクマネージ メント委員会

2 院外研修会等参加状況

年 月 日	研修会等の名称	場 所	参 加 者
2018. 5. 9～ 5. 12	新任主任級研修(第1回)	札幌市	藤井賢司
5. 14～ 5. 15	退院支援の基礎知識研修	札幌市	濱名香代子
5. 19～ 5. 20	放射線技師学術講演会	札幌市	平島仁司
5. 24～ 5. 25	道立病院医事担当職員等研修会	札幌市	竹石 豊
5. 28～ 5. 29	新任主任級研修(第2回)	札幌市	中島 舞
6. 2～ 6. 3	認知症行動療法を精神科作業療法にいかすためのワークショップ	札幌市	山田亜人
6. 4～ 6. 6	認知症ケア対象者を深く理解するために	札幌市	川口養子
6. 9～ 6. 11	精神科薬物療法認定薬剤師講習会	神戸市	中島 舞
6. 11～ 6. 12	新任主任級研修(第3回)	札幌市	野澤元樹
6. 22～ 6. 23	日総研「脳の解剖生理」研修	札幌市	平森芳浩
6. 23～ 6. 24	北海道看護研究学会	札幌市	夏井礼英
6. 24～ 6. 29	アルコール依存症臨床医等研修会	横須賀市	中村志信
6. 28～ 6. 30	日本老年精神医学会	郡山市	中村一朗
7. 9～ 7. 11	K Y T リスク感性を高めよう研修会	札幌市	伊藤和美
7. 12～ 7. 14	看護倫理～看護で大切なことは何か～研修会	札幌市	桜井尚子

年 月 日	研修会等の名称	場 所	参 加 者
7. 14～ 7. 16	認知行動療法研修会	帯広市	草野章子
7. 14～ 7. 17	精神科感染制御セミナー	札幌市	中島 舞
7. 25～ 7. 27	看護管理Ⅰ～看護管理のはじめの一步～	札幌市	小林節也
8. 28～ 9. 1	医療における個別就労支援研修	小平市	中村志信
9. 5～10. 23	認定看護管理者教育課程セカンドレベル	札幌市	目黒嘉代子
9. 20～ 9. 24	日本放射線技師学術大会	下関市	平島仁司
9. 26～ 9. 27	看護補助者の活用推進のための看護管理研修会	札幌市	本田修子
10. 3～10. 5	道立病院看護職員リーダーシップ研修	札幌市	京藤知美・渡辺マミ
10. 5～10. 7	電気けいれん療法（ECT）講習会	東京都	藤井 泰
10. 6～10. 8	精神科薬物療法認定薬剤師講習会	東京都	中島 舞
10. 15～10. 20	包括的暴力防止プログラムトレーナー養成研修	音更町	徳差さなえ
10. 17～10. 20	日本ダイケア学会第23回年次大会千葉大会	浦安市	山田亜人
10. 20～10. 22	基礎ポイント研修：運動を精神科作業療法の手段とする	東京都	鈴木岐苗
10. 20～10. 21	日本診療放射線技師会北海道地域学術大会	札幌市	平島仁司
10. 26～10. 27	第52回てんかん学会学術集会	横浜市	中村一朗
10. 29～11. 1	災害看護Ⅱ：災害支援ナース養成研修	札幌市	折笠郁子
11. 14～11. 17	日本食品衛生学会第114回学術講演会	札幌市	石川千寿子
11. 23～11. 26	検体採取等に関する厚生労働省指定講習会	札幌市	小暮涼太
11. 29～11. 30	道立病院看護師長研修	札幌市	本田修子・菊田美雪
11. 29～12. 2	認知症行動療法ベーシック研修(集中)	小平市	山田亜人
12. 3～12. 5	自殺対策を理解する～看護職のできること～研修会	札幌市	更永恵美
12. 5～12. 7	摂食・嚥下障害ケアの基本を学ぼう研修会	札幌市	高橋さとみ
12. 6～12. 9	精神保健法と行動制限最小化看護及び身体拘束と医療安全研修	京都市	平森芳浩
12. 15～12. 16	北海道精神神経学会第134回例会	札幌市	藤井 泰
2019. 1. 14～ 3. 13	保健師助産師看護師実習指導者講習会	札幌市	河野宏子
1. 31～ 2. 2	精神保健指定医研修会(更新)	東京都	中村一朗
2. 16～ 2. 18	精神科薬物療法認定薬剤師講習会	福岡市	中島 舞
2. 28～ 3. 3	第11回日本不安症学会学術大会	岐阜市	藤井 泰
3. 1～ 3. 3	第38回食事療法学会	札幌市	石川千寿子
3. 11～ 3. 15	公認心理士現任者講習会	札幌市	祝田政幸

3 教育、実習の受入

(1) 教 育

学 校 名	講 義 内 容	職 種	氏 名
道立網走高等看護学院	精神看護学援助論Ⅰ	医 師	中 村 一 朗
	精神看護学概論	看 護 師	木 村 裕 子
	精神看護学援助論Ⅱ	看 護 師	草 野 章 子
		看 護 師	折 笠 郁 子
	災害看護と国際協力	看 護 師	河 野 宏 子

(2) 実 習

職 種	学 校 名 等	実 習 期 間	人 員
看 護	道立網走高等看護学院	2018. 6. 25～7. 12 2018. 8. 15～9. 3 2018. 10. 17～11. 50 2018. 11. 28～12. 18	延225
看 護	道立紋別高等看護学院	2018. 5. 14～ 5. 18 2018. 5. 28～ 6. 1 2018. 6. 11～ 6. 15 2018. 7. 23～ 7. 27	延136
看 護	日本赤十字北海道看護大学	2018. 5. 7～ 5. 18 2018. 6. 18～ 6. 29 2018. 7. 30～ 8. 10	延 52
看 護	学校法人 西野学園	2018. 11. 5～11. 8 2018. 11. 12～11. 15 2018. 11. 19～11. 22 2018. 11. 26～11. 29	延 46

(3) インターンシップ

職 種	学 校 名 等	実施期間	人数
看 護	北海道網走桂陽高等学校 第2学年	2018. 9. 12～9. 13	2人

(4) ふれあい看護体験

職 種	学 校 名 等	実施期間	人数
看 護	網走南ヶ丘高等学校 第3学年	2018. 5. 15	9人

第7 医療事故等の状況

1 医療事故等の公表基準

道では、近年の公立病院における医療事故に関する情報公開が急速に進展している状況を踏まえ、道立病院においても、病院運営の透明性を高め、さらに医療の安全管理体制の向上を図ることが必要との判断から、医療事故の公表に関する取扱いを定め、2006（平成18）年度発生の医療事故から適用することとした。

「道立病院における医療事故等の公表基準」の概要は、次のとおりである。

道立病院における医療事故等公表基準(概要)

(1) 目的

道立病院で発生した医療事故等を公表することにより、病院運営の透明性を高め、道民の医療に対する信頼を深めるとともに、医療における安全管理体制の向上を図ることを目的として、医療事故等の公表を行う。

(2) 医療事故等のレベル基準

レベ ル		障害の 継続性	障害の 程 度	内 容
イン シ デ ン ト	レベル0	－	な し	事故が起こりそうな環境に前もって気づいた事例、 実施される前に気づいた事例
	レベル1	－	な し	患者への実害がなかった事例 何らかの影響を与えた可能性はあったが、処置や治 療を要しなかった事例
医 療 事 故	レベル2a	一過性	軽 度	確認のための検査の必要が生じた事例 簡単な処置や治療を要した事例(湿布、鎮痛剤の投 与など)
	レベル2b	一過性	中等度	処置や治療を要した事例（皮膚の縫合など）
	レベル3	一過性	高 度	濃厚な処置や治療を要した事例(人工呼吸器の装着、 入院日数の延長、外来患者の入院など)
	レベル4	永続的	－	永続的な障害や後遺症が残った事例
	レベル5	死 亡	－	死亡(原疾患の自然経過によるものを除く)

(3) 公表基準

各レベルに対応するレベル基準は、次のとおりである。

区 分	レベル	過誤あり	過誤なし
インシ	レベル0	一括公表（個々の事例ごとに公表しない） ※1	
デント	レベル1		
	レベル2a		
医 療 事 故	レベル2b	概 要 公 表 （事例ごとに概要を公表する 医療機関名の公表はしない）	
	レベル3		
	レベル4	原則個別公表 ※2	
	レベル5		

※1 過誤なしについては、一括公表とするが、社会的意義が大きいと考えられるものについては、医療安全対策の観点から概要を公表する。

※2 個別公表については、患者及び家族の同意を得たうえで公表する。
なお、自殺については、患者家族に対する配慮から個別公表は行わない。

(4) 公表の方法

道立病院局のホームページで、次により公表する。

公表に際しては、北海道個人情報保護条例に基づき、十分配慮して行う。

ア 個別公表(随時)

事故の概要、原因及び今後の対策を掲載

なお、個別公表に当たっては、患者さん及びご家族に対し、事前に十分説明を行い、同意を得ることを原則とする。

イ 概要公表及び一括公表(年2回(11月、5月))

概要公表：事故の概要、原因及び今後の対策を掲載

一括公表：件数を掲載

2 医療事故等の発生状況

2014～2018年度の医療事故等の発生件数等は、次のとおりとなっている。

(単位：件)

レベル/年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
レベル0	173	56	27	81	149
レベル1	376	251	148	123	103
レベル2a	74	39	17	26	11
レベル2b	4	10	1	4	1
レベル3	5	1	1	0	0
レベル4	0	0	0	0	0
レベル5	1	1	0	0	0

第8 ご意見の概要

2018年度

分 類	主 な 内 容	対 応 内 容 な ど
苦 情 (17件)	・職員への不満 ・会計時間が長い ・診療の待ち時間が長い ・売店の品揃え等について ・喫煙について	・関係部署にご意見内容を伝えた。
要 望 (36件)	・職員の対応について ・院内生活に関すること ・デイケア、作業療法活動に関すること ・洗濯機、乾燥機について ・食事の要望について ・設備等の環境について ・W I - F I 利用について ・入院中の買い物について	・回答文書を掲示した。 ・関係部署にご意見内容を伝えた。
その他 (50件)	・職員への感謝 ・職員への不満 ・食事に関すること ・病棟での出来事 ・療養環境について ・他の入院患者について ・自己又は家族に関すること ・判読不能のもの など	・回答文書を掲示した。 ・関係部署にご意見内容を伝えた。
合計103件		

第9 資料(網走の精神保健・医療)

1 オホーツク総合振興局管内の人口と面積

人口：285,525人（住民基本台帳30.1.1）

（うち網走市36,322人、斜里町11,723人、清里町4,166人、小清水町4,983人、
大空町7,282人 斜網地域計64,476人）

面積：10,691km²（国土地理院29.10.1）

2 精神科医療機関の状況（精神科を標ぼうしているオホーツク総合振興局管内の病院・診療所）

	名 称	所在地	許 可 病 床 数					医療機能		
			総数	一般	療養	精神	感染	措置	応急	精神科 デイケア等
病 院	美幌療育病院	美幌町	150	60	30	60				
	北見赤十字病院	北見市	532	490		40	2	○		○
	（医）玉越病院	北見市	110			110				○
	小林病院	北見市	300	256	44					
	（医）端野病院	北見市	140			140				○
	（社医）道東脳神経外科 病院	北見市	60	60						
	北海道立向陽ヶ丘病院	網走市	105			105		○	○	○
	（社医）網走脳神経外科、 リハビリテーション病院	網走市	64	64						
	遠軽厚生病院	遠軽町	337	285	50					
	（医）遠軽学田病院	遠軽町	135			135				
診 療 所	広域紋別病院	紋別市	150	148			2			
	清里クリニック	清里町	19	19						
	あしの医院	北見市	-							
	（社医）桂ヶ丘クリニック	網走市	-							

※1 道医務業務課ホームページ「道内医療機関の名簿について」より（平成31年4月1日現在）

3 精神保健福祉社会資源

(1) 精神保健協会

名 称	所 在 地	電 話
網走地方精神保健協会	〒093-8585 網走市北7条西3丁目 網走保健所内	0152-41-0698

(2) 地域活動支援センター（地域共同作業所）

地域活動支援センター ふれ愛	〒093-0035 網走市駒場南1丁目4番1号 網走市ふれあい活動センター内	0152-45-4688
地域活動支援センター ニポグリラ	〒093-0035 網走市駒場南1丁目4番1号 網走市ふれあい活動センター内	0152-44-5992
地域活動支援センター 海の貝	〒093-0016 網走市南6条西2丁目 網走市民会館内	0152-61-4355
地域活動支援センター 梅トピア	〒093-0016 網走市呼人722-1	0152-48-3037

(3) 精神障がい者地域生活支援センター（北網圏域）

サポートネット北見	〒090-0084 北見市北9条東1丁目14番地	0157-31-3399
-----------	--------------------------	--------------

(4) 計画相談支援事業所

特定相談支援事業者 きずな	〒093-0045 網走市大曲 2 5 番地 1	0152-45-0050
相談支援センター 「りらいふ」	〒093-0014 網走市南 4 条西 2 丁目 1 本間ビル 1 階	0152-44-7681
特定非営利活動法人 オホーツクスポーツクラブ	〒093-0042 網走市潮見 1 8 5 - 1 9	0152-44-4880
網走市こども発達支援 センター ふわり	〒093-0061 網走市北 1 1 条東 1 丁目 1 0 - 1	0152-44-1884
相談室 べる	〒093-0042 網走市潮見 2 7 0 番地	080-2871-3255
相談支援事業所 ちあふる	〒099-3213 大空町東藻琴 3 4 0 番地 1	0152-67-7152
相談支援事業所 ゆい	〒099-4117 斜里町青葉町 4 1	0152-23-6556
計画相談支援 はな斜里	〒099-4134 斜里町豊倉 5 0	0152-26-7131
斜里地域子ども通園センター	〒099-4113 斜里町本町 4 3 番地 1	0152-23-6418

(5) 共同生活援助事業所（グループホーム）

※他障害も対象

共同生活住居みずなら※		〒099-4116 斜里町文光町26-12	0152-23-3783	
サンライズヨピト	サ	〒093-0045 網走市大曲 2 5 番地 1	0152-67-5081	
	ン	はまなす寮※	〒093-0045 網走市大曲 2 5 番地 1	0152-67-5081
	ラ	アスター※	〒099-2421 網走市字呼人 3 9 3 - 2	0152-48-3553
	イ	サルビア※	〒093-0003 網走市南 3 条東 2 丁目	0152-44-7328
	ズ	ハッピー荘※	〒099-2421 網走市字呼人 7 2 1 - 1	0152-48-2660
	ヨ	オリーブ※	〒093-0042 網走市潮見 5 丁目 1 2 5 - 6 7	
	ピ	アザレアⅠ※	〒099-2421 網走市字呼人 7 2 1 - 2	0152-48-2555
	ト	アザレアⅡ※	〒099-2421 網走市字呼人 7 2 1 - 2	0152-48-3553
グループホーム海の貝		〒093-0083 網走市海岸町 5 の 1 0	0152-67-8833	
グループホーム海の貝2014		〒093-0083 網走市海岸町 5 の 1 0	0152-67-8833	
ひまわり		〒093-0043 網走市錦町120-20	0152-44-4875	
ふれ愛ホーム		〒093-0084 網走市向陽ヶ丘 2 丁目 1 4 - 1	0152-67-4462	
ケアホーム夢ふうせん※		〒093-0086 網走市二ツ岩 1 - 1 0	0152-67-4009	
グループホーム 事業所プレジール		〒093-0083 網走市海岸町 3 の 1 3	0152-67-7963	
グループホーム天都の杜		〒093-0042 網走市潮見 3 1 9 - 7 5	0152-67-7871	
指定共同生活援助 東藻琴事業所 ちあふる		〒099-3213 大空町東藻琴 3 4 0 番地 1	0152-67-7152	
共同住居事業所 ブーケ		〒099-4122 斜里町峰浜 1 1 0 - 1 1	0152-28-2026	

(6) 精神保健福祉ボランティアの会

はとの会	〒099-4112 斜里町港町 5 - 1	
コスモスクラブ	〒099-4405 清里町羽衣町35番地 清里町社協内	0152-22-4840

(7) ボランティアセンター

網走市ボランティアセンター	〒093-0012 網走市南2条西3丁目 網走市市民活動センター内	0152-61-4822
---------------	--------------------------------------	--------------

※ 網走市以外の各町のボランティアセンターは各町社会福祉協議会に設置

(8) 社会福祉協議会

網走市社会福祉協議会	〒093-0061 網走市北11条東1丁目10番地	0152-43-2472
斜里町社会福祉協議会	〒099-4116 斜里町文光町52番地17	0152-23-4704
清里町社会福祉協議会	〒099-4405 清里町羽衣町35番地	0152-22-4840
小清水町社会福祉協議会	〒099-3612 小清水町字共和13番地3	0152-62-3988
大空町社会福祉協議会	〒099-2300 大空町女満別西4条4丁目1番6号	0152-75-6021

(9) 家族会

ニポグリラ家族会	〒093-0035 網走市駒場南1-4-1 ふれあい活動センター内	0152-44-5992
----------	-----------------------------------	--------------

(10) 回復者クラブ

サークルエアポート	〒099-2323 大空町女満別西3条4丁目 大空町役場福祉課内	0152-74-2111
あおぞらの会	〒099-4113 斜里町本町6番地12 あおぞらの家	0152-23-6291
キララサークル	〒093-0073 網走市北3条西4丁目 市保健センター内	0152-43-8450

(11) 福祉の店

福祉の店さんぽ	〒093-0202 網走市南4条西2丁目 ジオビル1F	0152-44-6128
---------	-----------------------------	--------------

(12) アルコール・薬物関連自助グループ等

北見断酒会	〒090-0053 北見市桂町3丁目165-16 森本様方	
-------	----------------------------------	--

(13) 高次脳機能障がい者を支援する会

「つながり」高次脳機能障がい者を支援する会	〒090-0062 北見市美山町東2丁目68-9 道東脳神経外科病院医療生活相談室内	0157-69-0300
-----------------------	---	--------------

(14) 社会復帰学級

パパスクラブ	〒099-4405 清里町羽衣町35番地 清里町保健福祉課	0152-25-3850
小清水町社会復帰学級	〒099-3698 小清水町元町2丁目1番1号 小清水町役場内	0152-62-2311

2018年度

北海道立向陽ヶ丘病院年報

2019年(令和元年)6月発行

発行 北海道立向陽ヶ丘病院
編集 向陽ヶ丘病院広報委員会

〒093-0084

北海道網走市向陽ヶ丘1丁目5番1号

電話 0152-43-4138

FAX 0152-43-4365

